

No. 68 >>> Contents

●年頭所感

・・・・・・・・・・一般財団法人 大日本蚕糸会 会頭 小林芳雄 ――― ①

●一般財団法人 大日本蚕糸会から

令和2年度（第76回）蚕糸功労者表彰・・・・・・・・・・ ――― ②

令和3年度は、蚕糸絹文化振興対策事業から蚕糸絹提携自立化支援事業へ・・ ――― ④

令和2年度総会を開催・・・・・・・・・・ 全国シルクビジネス協議会 ――― ⑥

純国産絹フェアとジャパンシルクセンター
・・・・・・・・・・ 業務部・ジャパンシルクセンター ――― ⑧

●トピックス

シルクサミット 2020 in 丹後

丹後ちりめん創業 300 年～次代へ、新たな挑戦。～を開催して

・・・・・・・・・・ 京丹後市商工観光部商工振興課 絹業係長 三浦知史 ――― ⑩

●海外情報

コロナ影響下での中国蚕糸業の現況・・・中和株式会社 代表取締役 潘 林龍 ――― ⑫

●研究・技術情報

新しい回転簇と尿受器の製作について

・・・・・・・・・・ 群馬県蚕糸技術センター 蚕糸研究係長 須藤 薫 ――― ⑮

「ボール簇」と「尿受器」はいかがでしょうか !!

・・・・・・・・・・ 一般財団法人 大日本蚕糸会 ――― ⑮

●蚕糸・絹業団体情報

中央市豊富郷土資料館の紹介

・・・・・・・・・・ 中央市豊富郷土資料館 館長 内藤和久 ――― ⑲

●イベント情報

●一般財団法人 大日本蚕糸会から

2020 年度第3次分の純国産絹マーク使用許諾状況 ――― ⑳

純国産絹マーク使用許諾者及び絹製品名一覧 ――― ㉔

活動日誌 ――― ㉓

第9回蚕糸絹業提携確立技術・経営コンクールの出品を募集 ――― ㉔

●蚕糸絹関係博物館一覧

㉓

●蚕糸絹関係機関ホームページ一覧

㉓

●統計資料（統計資料の詳細は統計資料目次をご覧ください。）

㉔



一般財団法人大日本蚕糸会

会 頭 小林 芳雄

明けましておめでとうございます。本年も、わが国の蚕糸絹業の発展のため、皆様から大日本蚕糸会に対して期待される役割が果たせるよう努力してまいりますので、宜しくお願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が続く中、本会の事業活動につきましては、対面でのやりとりの制約など関係する皆様に種々ご不便をかけているところです。オンライン方式の活用等を通じて、よりスムーズな事業実施が図られるよう努めてまいりたいと考えています。

一昨年秋に「全国シルクビジネス協議会」が発足いたしました。養蚕、製糸、加工、流通等のシルクに関係する事業者や研究者、地方自治体など幅広い方々の参画を得て、情報共有や連携の強化を図り、シルクの多様な分野での利用促進のための活動を始めています。リアルでの交流が進めにくい状況下ではありますが、Web 等も使いながら、シルクに従来関わりの薄かった異分野の方々の参加も募りつつ、活動の活発化を図っていききたいと思います。遺伝子組換え技術により新たな機能を持つシルクの研究が進められていますが、これまでの蛍光シルクに加え、細繊維で染色性が良いとされるシルクを産み出すカイコについて、その一般飼育が始められる段階になりました。この協議会の場を通じて、こうした機能性シルクの商品化、需要開拓を併せて進めていくことができればと期待しています。

蚕糸業や絹文化の振興のための本会の助成事業については、令和3年度から新たな対策に移行いたします。対策の基本は、引き続き提携グループによる需要に応じた高品質な製品づくりを目指すものですが、近年の蚕糸絹業をめぐる状況を踏まえ、いよいよ待ったなしでこの目標の実現が求められているものと認識しております。

また本年4月には、大日本蚕糸会の2研究所を統合した「蚕糸科学技術研究所」が発足いたします。蚕品種、養蚕、製糸、絹等に関する研究・技術を対象として、一か所で総合的に取り組むという特徴を持つ組織になります。新研究所を含め本会の事業運営につきまして、引き続きのご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

令和2年度（第76回）蚕糸功労者表彰

第76回を迎えた一般財団法人大日本蚕糸会主催の令和2年度「蚕糸功労者表彰式」は、総裁常陸宮正仁親王殿下御臨席の下、令和2年10月21日に帝国ホテル（東京）で挙行する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から式典は中止することといたしました。

本年度は、恩賜賞1名、蚕糸功績賞3名、蚕糸功労賞13名、蚕糸有功賞13名、貞明皇后記念蚕糸科学賞1件、蚕糸絹文化学習教育奨励褒賞「蚕を学ぶ奨励賞」2小学校が栄えある表彰を受けられました。

1. 恩 賜 賞（1名）

久 保 脩	元 横浜農林水産消費技術センター所長
	前 本会副会頭

2. 蚕糸功績賞（3名）

関 秀 一	現 全国蚕種協会会長
-------	------------

木 口 憲 爾	現 信州大学名誉教授
---------	------------

今 井 竜 五	現 長野県 岡谷市長
---------	------------

3. 蚕糸功労賞（13名）

福 島 県	柏 倉 一 司
福 島 県	菅 野 雅 敏
福 島 県	鈴 木 淑 彦
栃 木 県	戸 谷 良 二
群 馬 県	南 雲 智 一
群 馬 県	西 尾 仁 志
群 馬 県	木 内 英 明
徳 島 県	鈴 木 啓 介
徳 島 県	谷 口 安 孝

(国研) 農業・食品産業技術総合研究機構	平 山 力
(一社) 日本絹人織織物工業会	長 嶋 正 晃
(一社) 全日本きもの振興会	手 島 明 彦
本 会	近 藤 進

4. 蚕糸有功賞 (13 名)

宮 城 県	佐 藤 長太郎
宮 城 県	菅 原 文 浩
宮 城 県	三 浦 重 治
福 島 県	三田村 敏 正
群 馬 県	中 島 しず江
群 馬 県	山 本 せつ子
長 野 県	竹 松 正 光
長 野 県	故 林 博 子
岐 阜 県	小 塚 誓 治
京 都 府	岡 修 三
京 都 府	松 田 宜 之
(一財) 伝統的工芸品産業振興協会	紀 平 昌 基
(一財) 伝統的工芸品産業振興協会	堀 部 満 久

○令和 2 年度 (第 63 回) 貞明皇后記念蚕糸科学賞

「養蚕用除菌洗浄剤の開発」

一般財団法人大日本蚕糸会 蚕業技術研究所

野 澤 瑞 佳
代 田 丈 志

○令和 2 年度 (第 8 回) 蚕糸絹文化学習教育奨励褒賞 (2 小学校)

「蚕を学ぶ奨励賞」

群馬県 前橋市立大室小学校

長野県 岡谷市立岡谷田中小学校

(敬称は略させていただきました)

令和3年度は、 蚕糸絹文化振興対策事業から蚕糸絹提携自立化支援事業へ

一般財団法人大日本蚕糸会

一般財団法人大日本蚕糸会が実施する養蚕農家や蚕糸事業者の皆さんへの助成事業「蚕糸絹文化振興対策事業」は今年度で終了し、令和3年度からは新たな事業として「蚕糸絹提携自立化支援事業」が始まります。蚕糸絹提携自立化支援事業の狙いとポイントを紹介します。

1 蚕糸絹提携自立化支援事業の狙い

本事業は、その事業名にも示していますが、川上である蚕糸業と川下である絹業の皆さんがしっかりした提携の下、自立に向けて取組まれる活動を支援するものです。このため、国産生糸の需要拡大対策や蚕糸・絹業提携グループの製品販売活動を支援するための事業、高付加価値商品への取組みとして特殊蚕品種を利用した生糸に対する加算制度等様々な仕組みを設けるとともに、一律的な価格補填等の見直しを行います。

2 蚕糸絹提携自立化支援事業における主な変更ポイント

蚕糸絹提携自立化支援事業において、蚕糸絹文化振興対策事業から変更した主な点は以下の通りです。

ア) 新規養蚕農家の技術研修支援

新たに養蚕を始めようとする方を対象とした本会研究所における技術研修については、今まで対象者を蚕糸・絹業提携グループの農家に限定していましたが、新規事業では限定を設けず養蚕を始めようとする農家等を幅広く対象とすることとしました。

イ) 蚕糸・絹業提携グループへの支援

蚕糸・絹業提携グループについては、実需と真に結びついて高品質な製品づくりに取り組んでいるグループ「準提携システム型」とその段階までには至っていないが「準提携システム型」に向けて取り組んでいる「システム志向型」に区分し、「準提携システム型」には製品の販売促進のための支援を新たに設ける等それぞれの区分に応じた支援内容に変更しました。

なお、令和3年度と4年度については、準備期間として従来と同様の助成を行うこととしています。

ウ) 国産生糸需要拡大支援

国産生糸の需要が低迷していることから、新たな国産生糸の需要を開拓するため、新商品開発や異分野におけるシルクの活用等を支援する事業を新たに実施することと

しています。

この事業は、単なる試作品の製作事業ではなく、新商品の開発から販売までを複数年にわたって支援するもので、製品を販売することに重点を置いているところが従来の事業とは異なる特徴です。

工) 生産対策事業

蚕糸絹提携自立化支援事業においても蚕種生産から製糸の各段階における生産活動に対する支援は引き続き行っていますが、内容については以下の通り一部見直しを行っています。

① 蚕種生産

普通蚕品種については、1箱当たり600円、特殊蚕品種については3,000円の助成を継続します。

② 稚蚕飼育

1～3令飼育については1箱当たり5,000円、1～2令飼育については2,500円に助成額を変更します。

③ 養蚕ヘルパー

2年間限りの経過措置として、補助率1/2以内（上限額4,000円/日）で助成を継続します。

④ 製糸事業者

助成対象を販売数量に変更します。また、助成単価を1,500円/kgに一本化するとともに高付加価値商品に対する加算制度を新設します。

⑤ 機械施設整備

対象者による補助率の区別をなくし、補助率を1/2以内に一本化します。

大日本蚕糸会が令和3年度から新たに実施する「蚕糸絹提携自立化支援事業」の概要は以上の通りですが、蚕糸絹業提携グループの皆様方には本事業を積極的に活用いただき、皆様方の自立に向けた取り組みの一助していただければと思っております。

なお、詳細については本会のホームページ等をご覧ください。お問い合わせください。

■ お問い合わせ先：

一般財団法人大日本蚕糸会 業務部
〒100-0006
千代田区有楽町1-9-4 蚕糸会館6階
TEL：03-3214-3500
FAX：03-3214-3511

生産対策の変更ポイント

事業	主な変更内容等
蚕種生産支援	・従来通り
稚蚕飼育支援	・助成単価を変更
養蚕ヘルパー支援	・2年間の経過措置を設けて廃止
製糸事業者支援	・助成対象、助成単価を変更 ・特殊生糸に対する加算制度を新設
機械施設等の整備支援	・補助率の変更

令和 2 年度総会を開催

全国シルクビジネス協議会

全国シルクビジネス協議会の令和 2 年度総会が開催されましたので、その概要をご紹介します。本来、総会を 5 月に開催し、全国シルクビジネス協議会の目的の 1 つでもある会員の交流会を合わせて行うことを予定していました。しかし、新型コロナウイルスの流行により緊急事態宣言が出され、人が密な状態で集まることを避けることが求められる状況となり、総会の開催を延期してきました。

当初、新型コロナウイルスの終息を期待しておりましたが、終息が見込めないこと、総会の開催をいつまでも延期していることも適切でないこと等から、8 月に開催した幹事会において、「今年度については、会員が一堂に会して開催する形ではなく、書面による形で総会を開催し、新型コロナウイルスの終息に向けた動向を判断したうえで、会員間の交流会を開催する。」こととなりました。

【総会の開催】

9 月 16 日に事務局より、1 号議案「令和元年度事業報告」、2 号議案「令和元年度決算」、3 号議案「令和 2 年度事業計画」及び 4 号議案「令和 2 年度予算」の提案を

正会員（10 法人）に送付し、9 月 30 日までに過半数の正会員から承認する旨の返信がありました。また、全国シルクビジネス協議会が昨年 9 月に発足して半年で、35 名の法人、個人が協力会員（分科会所属の会員）として登録されていることを事務局より報告しました。

令和元年度の取り組みと令和 2 年度の事業計画の主なものを紹介します。

令和元年度の主な取り組み

令和元年度は全国シルクビジネス協議会の設立が 9 月であったこともあり、半年間の活動となりました。主なものとしては、下記の通りです。

- ① 11 月に茨城県つくば市で開催された国際養蚕委員会日本大会にブースを出展し、国産シルクの紹介を行いました。
- ② 遺伝子組換えカイコによって作られる蛍光シルク等の新機能シルクについて各種シンポジウムや展示会等を通じた情報提供や関係者間の情報の共有化に取り組みました。
- ③ 令和元年度の養蚕の状況、課題等について養蚕農家との情報交換会を行いました。

-
-
- ④国産生糸について新たな需要を開拓するため、国産生糸に関心のある協力会員と製糸会社等との間でマッチングを図るための具体的な打合わせを行いました。

令和2年度の主な取組み

今年度の事業については新型コロナウイルスの状況によって大きく影響されると思われませんが、事業計画としては次の取り組みを予定しています。

- ①全国シルクビジネス協議会としてのホームページを立上げ、情報発信体制を整備します。また、引き続き、国産シルクに関心のある会員の拡充を図ります。
- ②会員間の情報交流の場である交流会を新型コロナウイルスの沈静状況を踏まえつつ開催します。
- ③国産シルクの新たな需要開拓に向け、シルクの新しい機能や蛍光シルク等の新機能シルクに着目した実需者と生産者のマッチングの取り組みを引き続き進めます。

おわりに

全国シルクビジネス協議会は、シルクの需要者、生産者、研究者等シルクに関係する者が連携し、シルクの多様な分野での利用促進を図ることにより、日本産シルクの需要拡大と国内養蚕業の振興及びシルク関連産業による地域振興を図ることを目的としています。本協議会が設立されて1年余りが経過しました。地方自治体や機械メーカー、マスコミ関係者など幅広い方々に協議会の会員に参加していただき、会として

の体制も徐々に整ってきました。

新型コロナウイルス感染症の拡大により様々な制約はありますが、これからも協議会として情報の発信や交流の場の提供等活動の充実を図ってまいります。

なお、全国シルクビジネス協議会では、国産シルクに関心のある皆様（法人、個人）の参加を歓迎しております。関心ある方は、下記、事務局までご連絡ください。

協議会の会費は無料ですが、連絡等はメールで行いますので、メールができる環境が整っていることが必要となります。

■ 全国シルクビジネス協議会事務局

〒100-0006

千代田区有楽町 1-9-4 蚕糸会館 6 階

（一財）大日本蚕糸会内

TEL：03-3214-3500

純国産絹フェアとジャパンシルクセンター

一般財団法人大日本蚕糸会 業務部

近年取得された純国産絹マークを貼付した製品を一堂に集め、「純国産絹フェア」（主催：蚕糸・絹業提携グループ全国連絡協議会、（一財）大日本蚕糸会）を、令和2年9月25～30日までの間、ジャパンシルクセンターで開催しました。

フェアには、マーク取得の方々の協力により、全国から14者24アイテムが出品され、それぞれの特徴を活かした反物、帯地等の和装類、スカーフ、ストール等の洋装小物、手袋、靴下等の健康グッズ等それぞれの特徴を活かした商品の展示・販売を行いました。また、ホームページとの連動企画で「シルクな人々」と題してシルクを愛用し、シルクを語ってくれる女性3名（土佐琵琶奏者 黒田月水氏、シンガーソングライター 雨宮奈緒氏、東京モード学園講師 塙恵子氏）のインタビュー動画を会場でお披露目しました。（現在は、蚕糸・絹業提携グループ全国連絡協議会HP上でご覧になれます。）

コロナ禍のもと、来場者は多くありませんでしたが、全国の色々な産地のものが見られたこと、国産の絹製品づくりに頑張っている方が多くいることなどを知って頂いたほかに、フェア開催案内の新聞広告を手



に来てくださる方など、シルクセンターを知ってもらう一助にもなりました。

ジャパンシルクセンターは、昭和58年の設置から37年余が経過。当初の設置目的であった「生糸絹製品の宣伝・新用途の考案等に関する展示紹介等を行う」絹全体の需要増進拠点から、川上・川下が一体となって国産の絹製品づくりを進める蚕糸・絹業提携システムの推進を目的とした「国産絹の需要増進のための蚕糸・絹業提携グループによる絹製品の展示会や試作品の展示会等を開催」し、多くの消費者の方々に国内蚕糸業及び絹業の現状を知ってもらうとともに、その素晴らしさを提供するセンターへと変貌しています。同時に「純国産絹マーク」を制定し、純国産絹製品であることを証するタグ、シールを発行し、その普及にも重要な役割を果たしています。

これまでも提携グループの展示会、試作品の発表会、子供カイク教室の開催等の催事を展開し、センター及びマークの浸透を図ってきたところですが、今回は、新たな企画として各提携グループや傘下の企業等にも呼びかけを行い、参加者の増加を図るとともに、紙媒体（新聞、チラシ）のほかに、SNSを活用したPR活動や展示物の案内を行いました。

今後の展開としては、養蚕産地や織物産地がある地方公共団体と一緒に純国産絹製品の愛好者を増やしていく催事を開催していきたいと考えていますので、アイデアをお持ちの方は、蚕糸・絹業提携グループ全国連絡協議会や（一財）大日本蚕糸会へご相談ください。

純国産絹フェア



出展内容
純国産絹マークが貼付された反物、帯地、スカーフ、手袋等の展示・販売

特別動画上映
「Interview with silk people」（絹に関わる文化人などへのインタビューを上映）

会場：ジャパンシルクセンター（東京都千代田区有楽町1-9-4 蚕糸会館1F）
会期：令和2年9月25日（金）～9月30日（水）
10:00～17:00（9月25日は13:00会場、9月30日は15:00終了）

※新型コロナウイルス感染拡大防止のためご来場の際は必ずマスクの着用をお願いいたします。スケジュールは状況により変更する場合がございます。



詳しくはこちら

現在全体の0.3%しか流通していない貴重な純国産の繭・生糸を使い製織、染織、加工及び縫製の全てを国内で行った純国産絹マーク®が貼付された絹製品を一堂に集めました。袋帯や着尺などの和装から、スカーフやネクタイなどの洋装まで様々な製品の展示・販売を行います。



※純国産絹マークは、国産の繭から繭糸した生糸等を用いて国内で製織、染織、加工及び縫製された純国産絹製品であることを一般の消費者が容易に識別できるようにするためのマークです。

特別動画上映「Interview with silk people」
絹に関わる文化人などへのインタビューを上映します



黒田 月水
土佐琵琶奏者



雨宮 奈緒
シンガーソングライター



埴 恵子
東京モード学園講師

来場のお客様に純国産絹のことがよくわかる写真集「26の物語で紡ぐ日本の絹」をプレゼントいたします。
※なくなり次第終了いたします。ご了承ください。

ジャパンシルクセンター



出展企業・団体（予定、順不同）

（有）緑巧 織匠万勝 （株）中忠商店 （株）大翻 （株）伊と幸 （株）やまと大橋メリヤス 大門屋 田中種（株） 渡豊工房 （株）龍工房 （株）甲斐絹座 （株）龍村美術織物 創作きものしお（柳崇、長嶺亨子、村江菊絵、児玉京子）

主催：蚕糸・絹業提携グループ全国連絡協議会 一般財団法人大日本蚕糸会（ジャパンシルクセンター）
お問い合わせ：一般財団法人大日本蚕糸会 03-3214-3500

シルクサミット 2020 in 丹後

丹後ちりめん創業 300 年～次代へ、新たな挑戦。～を開催して

京丹後市商工観光部商工振興課

絹業係長 三浦知史

京丹後市は、京都府の最北端に位置する人口約 5 万 4 千人のまちです。隣町の与謝野町とともに、着物の生地として全国的に有名な「丹後ちりめん」の産地であり、現在でも国内の着物生地の 6 割が、当地で生産されています。

今年 2020 年は、丹後ちりめんの始祖である絹屋佐平治が、丹後ちりめんを創業してから 300 年という節目の年にあたります。このことを記念して地元でも様々な取り組みが行われる中、農研機構からシルクサミットの開催地として打診をいただき、「丹後ちりめん創業 300 年～次代へ、新たな挑戦。」のサブタイトルのもと、丹後ちりめん創業 300 年事業の一環として、当地で開催させていただく運びとなりました。

令和 2 年 10 月 23～24 日にかけて行われた今回のシルクサミットには、市内はもちろん全国から約 140 名のご参加をいただきました。

【講演と活動事例報告（1 日目）】

1 日目のプログラムは、丹後織物工業組合の今井英之理事長による「丹後ちりめん創業 300 年 世界の絹織物産地を目指して」と題した基調講演からスタートしました。古くは奈良時代から絹織物の産地とし



基調講演を行う今井理事長

て栄えた丹後の歴史、創業 300 年を迎えた丹後ちりめんの現状と未来へ向けた様々な取り組みについて紹介され、丹後産地だけでなく日本の織物産業を支えるべく、次の 100 年を見据えてこれからも邁進していきたい、との力強い言葉で講演を締めくくられました。

続いて、農研機構の飯塚哲也上級研究員による「遺伝子組換えシルクの利用」、大妻女子大学阿部栄子教授による「丹後ちりめんを用いた窮極のサステナブル着物について」、京都工芸繊維大学小谷英治教授による「新シルク事業化をめざしたカイコのバイオテクノロジー研究」、ひらく織実行委員会実行委員長高岡徹氏による「ひらく織の取組について」、京都府織物・機械金属振興センター主任研究員徳本幸紘氏による「丹後ちりめんの特徴及び用途を展開

する取組について」の5件の活動事例報告が行われました。

【産地視察（2日目）】

2日目は、産地視察として、丹後織物工業組合の中央加工場及び、同じ敷地内で開催中の展示会「SILK WEEKS IN TANGO TANGO TEXTILE EXHIBITION」をご案内させていただきました。この展示会は「丹後ちりめん創業300年」を契機とした様々な取組みの集大成を披露する場として、10月23日～11月1日にわたって開催されたものです。また、例年この時期に京都市内で開催される丹後ちりめんの展示・品評会、「丹後織物求評会」も、今年は同じ会場で同時に開催されました。参加者の皆様には、展示品の数々を通じて、丹後産地の伝統と高い技術の一端に触れていただくことができたかと思います。

また、与謝野町にある「丹後ちりめん歴史館」にもご案内させていただきました。昭和初期に建築された絹織物工場をリフォームした博物館で、実際に織機が動くところをご覧いただくとともに、併設されたショップでのお買い物をお楽しみいただきました。

【コロナ禍のもとでサミット開催】

本サミットの開催にあたっては、昨年度中から農研機構と打ち合わせを重ね、受入れ準備を進めてまいりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、例年とは異なる対応を余儀なくされました。一時は開催そのものも危ぶまれる中、ソーシャルディスタンスの確保が可能な会場への変更や、新しい生活様式に即した準備の必要等が生じ、開催直前まで細かい調整に追われ



SILK WEEKS IN TANGO TANGO TEXTILE EXHIBITIONの様子ることとなりました。そのため、ご参加いただいた皆様に対しては、行き届かない部分も多々あったかと思います。この場を借りてお詫び申し上げますとともに、コロナ禍の中、丹後へお越しいただき、丹後ちりめん創業300年を盛り上げていただきましたことに、深く感謝申し上げます。

今井理事長の基調講演にもありましたように、丹後産地はこの創業300年を新たなスタートとし、織物業界と行政が一丸となって次の100年につながるよう挑戦を続けたいと考えておりますので、今後とも皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

これからの時期、丹後は日本海側特有の雨や雪が多い天候が続きますが、ズワイガニや牡蠣等の海の幸が旬を迎える季節でもあります。もし機会がございましたら、改めて丹後へお越しいただき、ごゆっくりお過ごしいただければ幸いです。

※基調講演及び活動事例報告の内容をまとめた資料は、下記ホームページからダウンロードしてご覧いただけます。

シルクサミット 2020 in 丹後 特設サイト
<https://sites.google.com/view/silksummit/%E3%83%9B%E3%83%BC%E3%83%A0>

コロナ影響下での中国蚕糸業の現況

中和株式会社

代表取締役 潘 林龍

『2020 中国（河池）シルク大会』が、11月25日に広西省の宜州河池で開催されました。全国から約400人が参加した今回の年大会は、コロナ感染が拡大した1月以降、初めての集会で、全員がマスクを着けての開会となりました。地元の何辛幸市長の挨拶から始まり、農業省の中国蚕糸ブランド集約主席朱保成氏、商務省蚕糸綢協調弁公室カーイセルカユム（音訳）副司長氏、中国紡織工業連合会楊兆華副会長、中国シルク協会唐琳会長、中国中糸集団王波董事長など9名の代表者が、多くのデータを纏めた情勢報告と意見を発表しました。

シルク協会会長唐琳氏が2020年1～9月のシルク内外状況を以下のように述べました。

2020年は極めて不安定な一年であり、新型コロナウイルスの持続的な蔓延に直面しながら、世界的な政治経済情勢の激しい変動の中、国際貿易流通障害と困難に耐え、全力でコロナと戦い、あらゆるリスクを解消して、業界の安定運営を何とか維持してきましたが、厳しい局面が大きく変わる兆しは、まだ見えていません。

1. シルク生産：中国統計局によると1～9月全国規模的な製糸企業生糸生産量3.56万トン（約59.3万俵）、去年同期比19.18%の減少、絹織物生産量2.78億メートル、同期比19.20%の減少、真綿布団663万枚、同期比25.46%と減少しました。



2. シルク輸出：中国税関の統計によると、1～7月が、全国シルク商品輸出額 6.81 億米ドルで、去年同期比 36.73% の減少、その中に生糸原料類輸出 1.64 億米ドル、同期比 31.93% の減少、絹織物輸出額 1.56 億米ドル、同期比 43.78% の減少、絹製品輸出 3.61 億米ドル、同期比 35.29% と減少しました。欧米諸国がコロナ禍の蔓延を収束できていない現状から見ると短期間での回復は、依然難しいと考えられます。

3. 各地方企業 1～9 月営業（中国統計局より）については、売上 423.86 億元、同期比 15% の減少、収益 9.88 億元で同期比 38.03% と減少しました。

4. 市場供給については、2 月末から 3 月末まで相場が一時的に 30% 以上値下がり、5 年ぶりの最低値となりました。4 月以降、わずかに戻ってきましたが 10 月末まで、乾繭が 9.55 万元 / トン（円に換算で 1,528 円 / キロ）で、去年同期比 26.14% の減少、生糸 31.02 万元 / トン（円に換算で 4,963 円 / トン）去年同期比 24.69% と減少しました。依然として、内外とも需要は弱く、平年の平均レベルまでの回復には、なお時間がかかると思われます。

表 1 2020 年 1～9 月全国大中企業生産量情況

主な生産品	単位	1～9 月	同期比 (%)	1～3 月比
生糸	トン	35,564	-19.18	5.90
絹織物	万メートル	27,792	-19.20	4.50
真綿布団	万枚	663	-25.46	3.20

表 2 2020 年 1～7 月主なシルク商品輸出情況

	金額同期比 %	数量同期比 %	価格同期比 %
シルク商品	-36.73		
原料類	-31.93	-35.89	6.17
生糸	-38.13	-41.01	4.88
絹織物	-43.78	-35.19	-13.23
絹二次製品	-40.49	-49.99	19.01
ニット製品	-42.94	-46.40	6.37
織物製品	-40.12	-51.73	24.05

表3 2020年1～7月主要省市地方シルク輸出状況

No.	地区	金額（万ドル）	前年同期比 %	No.	地区	金額（万ドル）	前年同期比 %
1	浙江	26,736.93	-38.85	10	内蒙古	1,034.54	295.21
2	江蘇	10,610.07	-37.12	11	安徽	769.89	-47.65
3	広東	5,864.14	-54.59	12	雲南	599.44	-0.24
4	上海	4,261.14	-6.51	13	福建	545.25	-35.23
5	広西	4,235.92	-46.87	14	重慶	526.58	29.58
6	江西	4,176.10	27.35	15	河南	445.10	-74.10
7	山東	3,955.28	-30.77	16	河北	206.78	-53.85
8	四川	2,056.21	-22.90	17	天津	168.92	-34.10

表4 2019年9月～2020年9月売上増減状況（前年同期比 %）

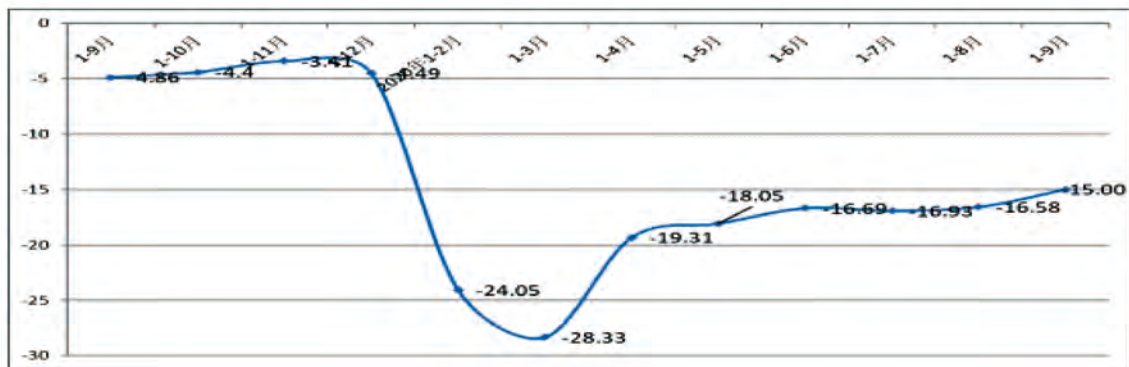


表5 2019年9月～2020年9月生産企業収益増減状況（前年同期比 %）

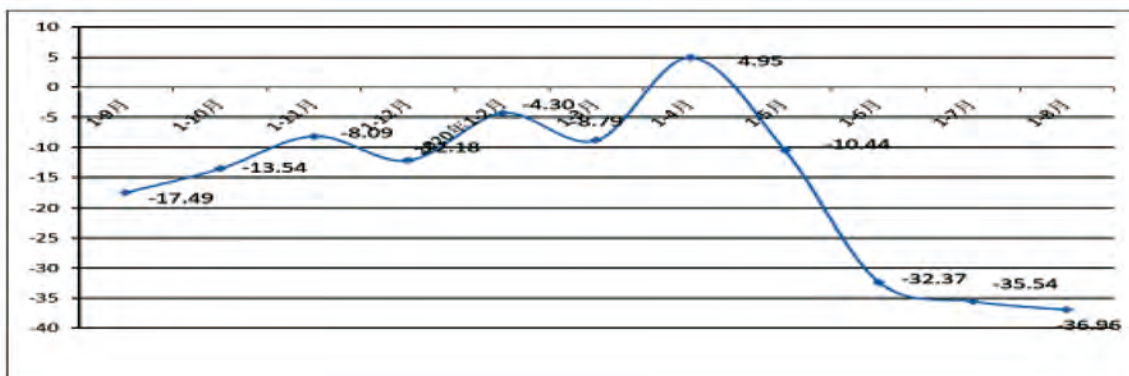


表6 2020年1～6月各国シルク輸出輸入金額状況（万ドル）

区域	国家	輸出額	前年同期比%	シェア%	輸入額	前年同期比%	シェア%
アジア	インド	33,086.01	-59.74	18.82	58,170.05	-51.38	26.19
	トルコ	26,859.20	-49.57	15.28	38,687.90	-21.14	17.42
	中国	21,221.20	-52.87	12.07	7,458.08	-32.70	3.36
	タイ	7,836.51	-31.14	4.46	5,371.72	-31.22	2.42
	日本	4,371.91	-18.71	2.49	4,091.69	-43.57	1.84
	マレーシア	1,695.74	-30.39	0.96	3,886.11	-63.93	1.75
欧州	E U (27ヶ国)	72,865.84	-43.24	41.45	94,879.04	-40.00	42.72
アメリカ 南米	アメリカ	6,690.76	-57.11	3.81	5,379.80	-8.54	2.42
	ブラジル	694.95	-57.59	0.40	2,949.86	-58.69	1.33
大洋州	オーストラリア	488.75	-21.20	0.28	1,235.38	-65.92	0.56

新しい回転簇と尿受器の製作について

群馬県蚕糸技術センター

蚕糸研究係長 須藤 薫

1 はじめに

群馬県蚕糸技術センターでは、担い手育成に力を入れています。養蚕を始めるには種々の蚕具を必要とし、その多くは現在、製造、販売されていないことから、入手しやすい資材を活用した代替品の製作を検討しています。しかし、作業性などの観点から代替しがたい蚕具も多くあります。その代表格が「回転簇」です。

簇はその性能によって繭の品質を左右する重要な蚕具です。優良繭生産、つまり養蚕振興を図る上で、良質な回転簇が入手できるということは非常に大切なことです。

そこで、令和元年度に（一財）大日本蚕糸会貞明皇后研究助成を受け、回転簇（ボール簇、回転枠）および尿受器（図1）の業者委託による製作とその使用試験を実施

しました。そして、このたび回転簇と尿受器が販売される運びとなりましたので、試験を経て製作した新しい器材の特徴について紹介します。

2 新しい器材の特徴

試験では、上簇作業等の労力負担がわずかでも軽減されるよう、器材の軽量化を試みました。なお、ボール簇が既存の収繭毛羽取機に適合しないと作業能率の大幅な低下を招くことから、回転簇および尿受器の基本サイズは旧器材と同じとしました。ここでの旧器材とは、群馬県内で普及しているタイプのうち製造業者が明らかなA産業製の回転簇、B製作所製の尿受器です。

（1）ボール簇

材質は黄板紙製、1区画サイズは縦3cm×横4cm×深さ3cm、簇1枚当たり区画数は156個（タテ13個×ヨコ12個）です。重さは旧器材とほぼ同じで軽量化には至りませんでした。性能比較試験の結果、旧器材と互換性があり、旧器材と同様に優良繭の生産が可能です（表）。

試作段階では失敗もあり、例えば、やや柔らかい材質の板紙を使用したところ、ボール簇の区画の展開形状が維持できずに奇

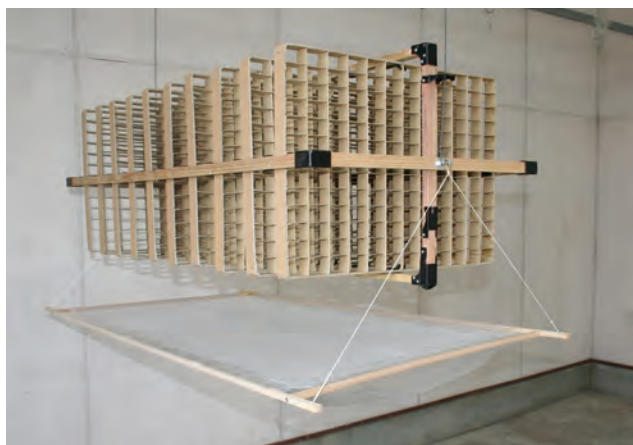


図1 新しい回転簇および尿受器

表 回転族(2段懸垂)および尿受器の性能比較試験結果

区 No.	器材組合せ	上簇頭数(頭)			登簇率(%)			上繭歩合(%)			解じょ率(%)		
		初秋	晩秋	初冬	初秋	晩秋	初冬	初秋	晩秋	初冬	初秋	晩秋	初冬
1	新ボ+新枠+新尿	2,398	2,332	2,303	97.83	99.23	99.13	91.82	90.92	98.07	77	84	89
2	新ボ+旧枠+新尿	2,380	2,355	2,254	98.19	98.98	99.11	93.41	94.55	96.82	77	84	78
3	新ボ+旧枠+旧尿	2,316	2,383	2,358	98.53	99.45	99.02	94.92	90.34	97.60	71	88	85
4	旧ボ+新枠+旧尿	2,236	2,353	2,326	97.85	98.81	99.31	94.84	95.31	97.75	77	86	88
5	旧ボ+新枠+新尿	2,335	2,305	2,442	97.30	98.83	99.63	93.27	93.81	97.82	73	81	85
6	旧ボ+旧枠+旧尿	2,383	2,327	2,332	95.93	99.18	99.44	88.15	94.06	96.51	75	83	87

※供試蚕品種は「ぐんま200」で、1～3齢人工飼料育、4～5齢条桑育

※「新ボ」は新ボール族、「新枠」は新回転枠、「新尿」は新尿受器、「旧ボ」は旧ボール族、「旧枠」は旧回転枠、「旧尿」は旧尿受器

※「登簇率」：上簇したうち簇に入った蚕数割合

形繭が多くなったり、初回の収繭で破損したりするものも見受けられました。

このことから、農家のみなさんが今使っているボール族も柔らかいものや破損が著しく強度不足となっているものは修理や更新することで、不良繭の発生を減らすことができると思います。

(2) 回転枠

ボール族の短辺、長辺それぞれの中央を固定するタイプで、枠角や簇片の固定具などをプラスチック製とすることで、旧器材に比べ14%軽量化しました。旧器材のボール簇片の固定具は、針金製で固定力がやや弱いため、一部のボール簇片がずれて斜めになり、ボール簇片間での結繭や糞尿などによる汚染繭発生の一因となっていました。新しい器材では、ボール簇片の固定力が強いため、回転族の組立や解体のしにくさはありませんが、ボール簇片は、ずれていくなくなっています。

(3) 尿受器

回転族の下に懸垂するタイプで、枠棒に杉材を利用し、旧器材に比べ12%軽量化

しました。排尿処理のしやすさも旧器材と同等です。熟蚕の排出糞尿の重さには耐えられますが、枠棒は細い角材なので、粗雑な扱いは避けてください。

3 おわりに

今回の試験で旧器材として扱った蚕具は、広く普及したタイプであって、材質やサイズ、作り方まで綿密に考えられているということを実感しました。先人の確かな技術に敬意を表するとともに、今後も関係者の協力を得て、養蚕に取り組みやすい環境整備のための技術開発に取り組んで参ります。

■ 問い合わせ先：

群馬県蚕糸技術センター蚕糸研究係

〒371-0852

群馬県前橋市総社町総社 2326-2

TEL：027-251-5142

「ボール簇」と「尿受器」はいかがでしょうか !!

一般財団法人大日本蚕糸会

養蚕農家の皆様には、優良繭生産にご尽力いただきありがとうございます。優良な繭を生産するには、古くなったボール簇の更新が欠かせません。

しかしながら、現状では、ボール簇は、注文生産となっております。

皆様が定期的に更新されるので、供給の安定化を図るため、新たに群馬県の業者（（有）三光パッケージ）をお願いし、本冬期間に皆様のお手元に「ボール簇」と「尿受器」（半完成品）を供給できる体制をとります。このため、下記の要領で、「ボール簇」及び「尿受器」を必要とし、手当したいとご希望の方は、ご注文よろしく願いいたします。

本商品は、完全注文生産となるため、申し込みされた数量のみの生産となります。ご希望の方は、ぜひお忘れなくこの機会にご注文いただきますようお願いいたします。

なお、回転簇用の「木枠」、「金枠」につきましては、皆様の近隣の休止された養蚕農家様が保有されています回転簇のリサイクルでご対応いただくようお願いいたします。

価格、荷姿等につきましては、JA 等を通じてお知らせいたしております。

■問い合わせ先（注文受付部署）：

一般財団法人大日本蚕糸会 業務部

〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-9-4 蚕糸会館6階

電話：03-3214-3500

FAX：03-3214-3511

中央市豊富郷土資料館の紹介

中央市豊富郷土資料館

館長 内藤和久

はじめに

本館は特段蚕糸・絹業団体という訳ではなく、地域のごく普通の郷土資料館であることを初めにお断りしておきます。しかし甲府盆地南側の曽根丘陵にある豊富地域が古くからの養蚕地帯であったという地域性をもつことから、自ずと収集・展示内容の中心の一つが養蚕関係となっています。

豊富郷土資料館の開設は、考古・歴史・民俗資料が時代とともに失われていく現状を憂えた旧豊富村の皆様からの提供により、昭和54年に約3000点の資料を収集展示したことに端を発します。現在の施設となったのは平成6年のことで、平成18年の合併により中央市となった今も、市内外の方々に郷土の文化を紹介するとともに、現代の生活に生かす道を探りながら、貴重な資料を後世に伝えていく役目を負っています。

郷土資料の展示

郷土の歴史を知る場として多くの人に利用されていますが、特に多いのが県内の小学校の社会科見学等での利用です。

1階は「郷土資料展示室」として、衣食住、生業、さらには文化や教育にいたるま



資料館外観

で、先祖ゆずりの品々が民家の室内復元の中などで展示しております。これらを通して今日まで脈々と続いている民俗や生活習慣の源を興味深く探ることができると思います。

シルク資料

2階は「シルク資料展示室」となっています。豊富地域は全国でも屈指の養蚕地帯であり、他地域が果樹栽培転換の流れの中にあっても、最後まで養蚕を継続していたことから、養蚕に特化した展示を行なっています。またシアタールームを併設しており地域での養蚕の姿やカイコの生育についての映像をご覧いただいています。

展示室では養蚕を生活の中心にしてきた農家の復元をはじめ、豊富地区で使用され

ていた様々な養蚕関係用具を展示しています。また別室では、カイコの生態・成育・絹糸ができるまでのプロセスを紹介するなど、養蚕に携わってきた人々の苦労や、技術の変遷を知る歴史資料を展示しています。

養蚕関係資料の活用の課題

残りわずかとなった養蚕農家の営農の姿や、残された用具を使った民俗的な実験の様子を、かつてはブログ配信していました。しかし最後の農家が転業して、本地域の養蚕業も幕を下ろしてしまいました。また当館に専門職員を置けず、調査・研究ができない時期もありました。職員の設置・増員や育成は今後の課題でもあります。当館を支援してくださるボランティア組織との活動が再開され、教育委員会を含めた三者による調査・研究活動を実施するなど、スタッフ不足を補う取り組みを始めています。現在は歴史部門だけではありませんが、養蚕関係をいかに進めていくかが大きな課題です。

収蔵・展示している様々な養蚕農具についても、製作者と農家と繭購入業者との関係や編年的な経緯など整理しなければならないことが多くあります。また養蚕日記や協同組合の記録や蚕糸関係機関資料などの大量の一次資料を、市内外の方々にどのように還元していくのかなどの課題が残されています。



室内での養蚕風景の復元

■ 問い合わせ先：

中央市豊富郷土資料館

〒400-1513

山梨県中央市大鳥居 1619-1

TEL：055-269-3399（内線 3530）

FAX：055-269-3397

<http://silknosato.com/museum>

イベント情報

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、各博物館では臨時閉館やイベントを中止している場合があります。詳細は各 WEB サイトなどでご確認ください。

●岡谷蚕糸博物館 企画展

「諏訪のものづくり ―蚕糸業から精密業へ―」

明治初期から昭和の初期まで、わが国の生糸生産量の一位を誇ってきた岡谷。その繊細な技術と英知が新たな精密加工業を生み出しました。諏訪人が生み出す技術の粋を感じ取ってください。

〈会期〉 1月21日（木）～4月18日（日） 9:00～17:00

休館日：水曜日・祝日の翌日

〈主催〉 岡谷蚕糸博物館 ―シルクファクトおかや―

〈会場〉 岡谷蚕糸博物館 〒394-0021 長野県岡谷市郷田 1-4-8

Tel:0266-23-3489

<http://silkfact.jp/>

E-mail: hakubutsukan@city.okaya.lg.jp

●岡谷蚕糸博物館 企画展

玉糸 ―起源・伝播・その魅力―

繭の中には2頭のお蚕さまが1つの繭をつくる玉繭があります。その繭を使った生糸が玉糸です。玉糸には節があり、温かな風合いの織物になります。玉糸の起源と岡谷への伝播、そしてその糸と織物の魅力にせまります。

〈会期〉 4月22日（木）～7月11日（日） 9:00～17:00

休館日：水曜日・祝日の翌日

〈主催〉 岡谷蚕糸博物館 ―シルクファクトおかや―

〈会場〉 岡谷蚕糸博物館 〒394-0021 長野県岡谷市郷田 1-4-8

Tel:0266-23-3489

<http://silkfact.jp/>

E-mail: hakubutsukan@city.okaya.lg.jp

●日本絹の里 第 95 回特別展

「群馬県作家協会展 ～絹によせる伝統文化～」

群馬県では、古くから養蚕が盛んに行われており、染織業や養蚕用具、養蚕の神様など、絹文化に関係する数多くのものが現代に伝えられています。本展では、絹文化と創造の魅力を未来へと伝えるため活動している群馬県作家協会会員の作品を紹介します。

〈会期〉12月19日（土）～2月1日（月） 9:30～17:00

休館日：火曜日（祝日の場合は翌日）

〈主催〉群馬県立日本絹の里

〈会場〉群馬県立日本絹の里 〒370-3511 群馬県高崎市金古町 888-1

Tel:027-360-6300

<https://www.nippon-kinunosato.or.jp>

●日本絹の里 第 96 回特別展

「まゆクラフトと絹の作品展」

繭の素材をいかした独創的なまゆクラフト作品とともに、工芸作家と日本絹の里友の会会員による作品を展示し、絹や繭の魅力を紹介します。

〈会期〉2月13日（土）～4月5日（月） 9:30～17:00

休館日：火曜日（祝日の場合は翌日）

〈主催〉群馬県立日本絹の里

〈会場〉群馬県立日本絹の里 〒370-3511 群馬県高崎市金古町 888-1

Tel:027-360-6300

<https://www.nippon-kinunosato.or.jp>

●シルク博物館

◎ワークショップ 「くみひもストラップ作り」

組台を使って糸を交互に斜めに交差させて、くみひもを作り、ストラップにします。

〈開催日〉1月30日（土）、3月27日（土） 13:00～15:00

〈参加費〉800円（入館料別）（事前申込・先着順）

◎手作り真綿の実演 （講師：河合貞子氏）

まゆを煮たものを水の中で引き伸ばし、木枠にかけて真綿を作ります。

〈開催日〉2月20日（土） 10:30～11:30、13:00～15:00

◎真綿からの太糸作り実演 （講師：河合貞子氏）

真綿を手で広げ、それを引き伸ばして太糸を作ります。

〈開催日〉3月20日（土） 10:30～11:30、13:00～15:00

〈主催〉シルク博物館

〈会場〉シルク博物館 〒231-0023 横浜市中区山下町1番地2階

Tel:045-641-0841

<http://www.silkcenter-kbkk.jp/museum/>

2020 年度第 3 次分の純国産絹マーク使用許諾状況

純国産絹マークの 2020 年度第 3 次審査委員会を 2020 年 11 月 18 日（水）に開催しました。今回の申請は 3 者で、使用許諾されている 3 者のうち製品の追加 1 者 1 品目、履歴の追加 1 者 2 品目、数量の追加 3 者 6 品目の申請がありました。これらの申請を審査委員会で審査した結果、3 者 9 品目に対し、11 月 25 日（水）付けで純国産絹マークを使用許諾する旨通知しました。

純国産絹マーク使用許諾企業名 (表示責任者名)	表示対象 製品名	表示対象 数量	生産履歴の内容 (繭生産地・企業等)
(株) 千總 代表者名：仲田保司 (担当者：上坂典弘) 〒 604-8166 京都市中京区三条通烏丸西入御倉町 80 TEL：075-211-2531 表示者登録番号 001	(数量の追加) 後染反物 (訪問着・付下)	140 反	繭生産 福島県内養蚕農家 製 糸 松岡 (株) 製 織 田勇機業 (株) 染色加工 自社
	(履歴の追加) 後染反物 (黒留袖)	45 反	繭生産 福島県内養蚕農家 製 糸 松岡 (株) 製 織 河藤 (株) 染色加工 自社
	(履歴の追加) 後染反物 (訪問着・付下)	148 反	繭生産 福島県内養蚕農家 製 糸 松岡 (株) 製 織 河藤 (株) 染色加工 自社
	(製品の追加) 後染反物 (訪問着・付下)	70 反	繭生産 JA 那須南管内養蚕農家 製 糸 松岡 (株) 製 織 江口機業 (株) 染色加工 自社
	(数量の追加) 後染反物 (振袖)	72 反	繭生産 岩手県・青森県内養蚕農家 製 糸 松岡 (株) 製 織 篠春織物 (株) 染色加工 自社
(数量の追加) 日本蚕糸絹業開発協同組合 代表者名：小林幸夫 (担当者：間野和之) 〒 370-0006 群馬県高崎市問屋町 3-5-3 TEL：027-361-2377 表示者登録番号 021	裏地 (胴裏絹)	360 枚	制作企画 絹小沢 (株) 繭生産 糸井文雄 製 糸 碓氷製糸 (株) 製 織 坪金工業 (株) 精練加工 鈴津

純国産絹マーク使用許諾企業名 (表示責任者名)	表示対象 製品名	表示対象 数量	生産履歴の内容 (繭生産地・企業等)
(数量の追加) (株) 高島屋 代表者名：村田善郎 (担当者：大西隆寿) 〒 542-8510 大阪市中央区難波 5-1-5 TEL：06-6631-1101 表示者登録番号 030	後染反物（振袖）	11 反	繭生産 JA 那須南管内養蚕農家 製 糸 松岡（株） 製 織 （株）竹林 染色加工 （株）千總
	後染反物（振袖）	12 反	
	後染反物（振袖）	12 反	繭生産 JA 那須南管内養蚕農家 製 糸 松岡（株） 製 織 篠春織物（株） 染色加工 （株）千總

次回の純国産絹マーク審査会の予定は次のとおりです。
 純国産絹マークの使用許諾を申請される方は、事務局との事前協議を経た上で、下記の提出締切日までに、純国産絹マーク使用許諾申請書を提出してください。

次回審査会 2020 年度第 4 次：2021 年 2 月 24 日（水）
 純国産絹マーク使用許諾申請書の提出締切日：2021 年 1 月 25 日（月）

(連絡先)
 〒 100-0006
 東京都千代田区有楽町 1-9-4 蚕糸会館 6 階
 一般財団法人 大日本蚕糸会
 担当：岡島、廣瀬、小林
 TEL：03-3214-3500 FAX：03-3214-3511
 E-mail：岡島：aokajima@silk.or.jp
 廣瀬：hirose_takato@silk.or.jp
 小林：kobaei@silk.or.jp

純国産絹マーク使用許諾者及び絹製品名一覧 2020年11月25日（2020－第3次）現在

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
001	(株) 千總	京都市中京区	後染反物（振袖、訪問着、付下、色無地、色留袖、黒留袖、喪服）、胴裏
002	(株) 織匠田歌	京都市上京区	先染反物、後染帯地
004	(株) 丸上	東京都中央区	後染反物（色無地、小紋、付下、黒紋付）、後染帯地
005	(株) 坂本屋	茨城県土浦市	後染反物（色無地）、胴裏（灰汁浸け加工）
006	(有) 平原	福島県白河市	後染反物（色無地、黒紋付）
007	(株) 信盛堂	東京都清瀬市	後染反物（色無地、黒紋付）
008	(株) きものアイ	新潟県十日町市	後染反物（色無地）
009	(株) 上庵	岩手県北上市	後染反物（色無地、黒紋付）
010	(有) 樹 (いづき)	秋田県横手市	後染反物（色無地、黒紋付）
011	(株) 銀座もとじ	東京都中央区	後染反物（作家作品）、後染帯地、先染反物（大島紬、結城紬、御召、作家作品）、先染帯地（織九寸帯、織角帯、作家作品）、白生地、和装小物（帯締、羽織紐）、八掛、胴裏
012	河瀬満織物(株)	京都市上京区	先染帯地
013	(有) 織匠小平	京都市北区	先染帯地
015	(株) 結華	静岡県清水町	後染反物（色無地、黒紋付）
016	(有) 絹回廊	東京都中央区	後染反物（色無地）
018	(有) 大善屋呉服店	福島県会津若松市	後染反物（色無地、黒紋付）、後染帯地、白生地（表地）
020	呉服のささき	山形県天童市	後染反物（色無地、黒紋付）
021	日本蚕糸絹業開発協同組合 (絹小沢(株))	群馬県高崎市	裏地（胴裏（ぐんま羽二重、ぐんまレピア、ぐんま200、灰汁浸加工、トルマリン加工）、八掛、比翼地）、長襦袢地、後染反物（作家作品、紋付地）、白生地（世紀二一、上州絹星・ぐんま200、新小石丸）、後染帯地（（冬物・夏物）：うるし糸が5%を超えるもの）、寝衣（うぶ着、おくるみ）、和装小物（袱紗）
022	宮階織物(株)	京都市上京区	先染反物、後染反物
023	21世紀の絹を考える会	京都府城陽市	後染反物（色無地、訪問着）、先染帯地（袋帯（草木染、唐織））
024	碓氷製糸農業協同組合	群馬県安中市	白生地、マフラー
025	丸幸織物(有)	京都府京丹後市	白生地
026	織匠万勝	京都市中京区	先染帯地（袋帯、名古屋帯）、先染反物（御召類）、後染反物（色無地）、先染帯地（袋帯：金銀糸が5%を超えるもの）
027	(有) 織道楽塩野屋	京都府亀岡市	洋装品（マフラー、シャツ、ニット（ウォーマー、腹巻、手袋、靴下））
028	(株) 丸万中尾	滋賀県長浜市	後染反物（江戸小紋、小紋、付下、友禅、色無地、訪問着、留袖、色留袖）、後染帯地、白生地（表地）
029	(株) むらかね	青森県八戸市	後染反物（色無地、黒紋付）
030	(株) 高島屋	大阪市中央区	後染反物（振袖、七五三着物、色無地、訪問着、黒留袖）、白生地（長襦袢地、胴裏）、ニット（靴下）、風呂敷

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
031	(株) さが美	神奈川県平塚市	後染反物 (黒紋付 (冬用・夏用)、色無地)
032	(有) まるけい	静岡県富士市	後染反物 (色無地、黒紋付)
033	(有) 特選呉服専門店後藤	青森県むつ市	後染反物 (色無地、黒紋付)
034	(株) 小いけ	山形県鶴岡市	後染反物 (色無地、黒紋付、小紋)
035	(株) 伊と幸	京都市中京区	後染反物 (色無地、訪問着)、白生地 (表地、胴裏、帯地)、白生地 (表地 (天蚕糸交織))、白生地 (帯地 (天蚕糸交織))、婦人用ブラックフォーマル地、長襦袢
036	(株) 四季のきものおおにし	東京都杉並区	後染反物 (色無地、黒紋付)、後染帯地、白生地 (表地)
037	(株) 和幸	埼玉県久喜市	後染反物 (色無地、黒紋付)
038	(株) 榊屋高尾	京都市北区	先染帯地 (袋帯)
039	(株) つるや	埼玉県川越市	後染反物 (色無地、黒紋付)、白生地 (表地)
040	(株) 越後屋	千葉県市川市	後染反物 (色無地、黒紋付)
041	(株) 小倉商店	茨城県結城市	先染反物 (結城紬)、先染帯地 (結城紬)、白生地 (結城紬)
042	柳 崇 (染織家 柳崇)	東京都世田谷区	先染反物、先染帯地
043	児玉京子 (染織家 児玉京子)	沖縄県竹富町	先染反物、先染帯地
044	草木染工房山村 山村多榮子	東京都八王子市	先染反物、先染帯地、先染帯地 (金銀糸が5%を超える)、先染服地、ストール
045	手織りよおん 長嶺亨子	沖縄県沖縄市	先染反物、先染帯地、ストール
046	祝嶺染織研究所	沖縄県沖縄市	先染反物、先染帯地
047	(株) 龍工房	東京都中央区	帯締
048	からん工房 深石美穂	沖縄県石垣市	先染反物 (紋紬、緋)、先染帯地
049	たわた工房	沖縄県那覇市	先染反物、先染帯地
050	山音 (株)	京都市中京区	後染反物 (色無地 (変三越、駒組))
051	やまと (株)	京都市下京区	後染反物
053	桜井 (株)	京都市北区	先染帯地
054	有栖川織物 (有)	京都市上京区	先染帯地
055	太田和 (株)	京都市中京区	先染反物 (結城紬)、先染帯地 (結城紬)
056	(株) 岩田	京都市中京区	先染帯地
057	(有) 神原呉服店	千葉県銚子市	後染反物 (色無地、黒紋付)
058	浅山織物 (株)	京都市北区	先染帯地
059	(株) やまと	東京都渋谷区	先染帯地、先染帯地 (金銀糸が5%を超えるもの)、白生地 (加賀友禅用)、先染着尺 (加賀友禅用)、和装小物 (帯揚げ)
060	田中種 (株)	大阪市中央区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠)、黒紋付、加賀友禅、色無地、すかし織着尺)、後染帯地 (九寸名古屋帯)、ニット (靴下、ネック&ボディ、ショルダー、アーム、タンクトップ、腹巻、手袋、ピロケース、肌襦袢、ネックウォーマー)、真綿布団、ハーフケット、布団カバー
061	(株) 京扇	東京都中央区	後染反物 (色無地)、胴裏 (パールトーン加工)

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
062	(株) なごみや	横浜市都筑区	後染反物（色無地、黒紋付）
063	丸池藤井（株）	京都市中京区	後染反物（色無地）、八掛
064	久保商事（株）	京都市中京区	和装小物（帯揚げ、半衿）
065	加賀グンゼ（株）	石川県小松市	胴裏
066	千切屋（株）	京都市中京区	後染反物（訪問着、付下）、後染帯地
067	荒川（株）	京都市下京区	和装小物（帯締、帯揚げ）
069	(株) 紅輪 ((株) 紅輪 まるやま・京彩 グループ)	川崎市宮前区	後染反物（色無地）、白生地（表地（紋意匠））
070	装いの道（株）	東京都千代田区	白生地（帯地、表地）、胴裏（トルマリン加工、灰汁浸加工、ぐんま 200、新小石丸）
071	(株) 高橋屋	岩手県一関市	胴裏（灰汁浸加工）
072	おお又（株）	大阪市旭区	胴裏（灰汁浸加工）、ニット（靴下）
073	(株) 天野屋呉服店	栃木県小山市	胴裏（ぐんま 200（灰汁浸加工））、白生地（表地）
074	(株) きもの潮見	愛媛県西条市	胴裏（パールトーン加工）
075	(株) とみひろ	山形県山形市	胴裏（酵素精練）
076	(株) 細安	福井県福井市	胴裏（酵素精練）
077	京和きもの（株）	神奈川県厚木市	胴裏（酵素精練）
078	(株) まるため	長野県長野市	胴裏（トルマリン加工、パーリー加工）
079	(株) 小川屋	群馬県前橋市	胴裏（トルマリン加工、灰汁浸加工）
080	(株) エムラ	山口県防府市	胴裏（酵素精練）
081	(株) 荒井呉服店	東京都八王子市	胴裏（酵素精練）
082	(株) 牛島屋	富山県富山市	胴裏（酵素精練）、後染反物（小紋）
083	(株) 谷呉服店	福岡県筑紫野市	胴裏（酵素精練）
084	(株) 登美屋	岩手県北上市	胴裏（パールトーン加工）
085	(株) 川平屋	愛知県豊田市	胴裏（パールトーン加工）、後染反物（小紋（変一越、紋意匠））
087	(株) 大丸松坂屋百貨店	東京都江東区	裏地（胴裏、比翼地（振袖用））、長襦袢地
088	西陣織工業組合	京都市上京区	マフラー、セーター、カーディガン、ショール、ネクタイ
089	(株) あきやま	宮崎県綾町	先染反物、洋装品（ショール、マフラー）
090	藤井紋（株）	京都市中京区	後染反物（色無地）
092	(有) 結城屋	兵庫県洲本市	白生地（表地）
093	(株) ウメショウ	岐阜県瑞穂市	白生地（表地）
095	(有) カシワギ	山梨県富士吉田市	寝具寝装品（冬用・夏用・合用薄絹ふとん、ブランケット）、洋装品（スーツ地、ネクタイ、服飾品（スカーフ、ストール、シャツ））
097	(株) 平田組紐	東京都豊島区	帯締、帯締（金銀糸が5%を超えるもの）、羽織紐（男物、女物）
098	(株) 菱健	京都市中京区	後染反物（色無地）
099	西野（株）	京都市上京区	帯締、帯締（金銀糸が5%を超えるもの）

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
101	(株) 猪井	新潟県長岡市	後染反物（色無地）、後染帯地
102	(株) たちばな	新潟県新発田市	後染反物（色無地）、後染帯地
103	(株) 丸富美	新潟県十日町市	後染反物（色無地）
104	(有) 絹もの屋まつなが	新潟県三条市	後染反物（色無地）
105	(株) 山正山崎	愛知県豊橋市	後染反物（色無地、小紋（変一越、紋意匠））
106	(有) こくぶん呉服店	福島県福島市	後染反物（色無地）
107	(株) 染織近藤	岡山市北区	後染反物（色無地、小紋（変一越、紋意匠））
108	(株) 宮川呉服店	北海道湧別町	後染反物（色無地、付下）
109	(株) 和らいふ	札幌市中央区	後染反物（色無地）
110	(有) きものいなもと	大阪市天王寺区	後染反物（色無地）
111	(株) 世さね	東京都中央区	後染反物
112	(株) 西陣まいづる	京都市上京区	先染帯地（袋帯（金銀糸が5%を超えるもの）、九寸帯（金銀糸が5%を超えるもの）、絹九寸帯（金銀糸が5%を超えるもの））
113	奥順 (株)	茨城県結城市	先染反物（結城紬）、先染帯地（結城紬）
114	りょうぜん天蚕の会	福島県伊達市	ショール（天蚕紬糸、天蚕ハイブリッド）
115	(有) 金屋	新潟県上越市	後染反物（色無地）
116	(株) 鶴屋百貨店	熊本市中央区	胴裏（酵素精練）、先染反物（結城紬）
117	黄八丈めゆ工房	東京都八丈島	先染反物（黄八丈）
118	京屋呉服店	長野県塩尻市	後染反物（色無地）
119	(資) 車屋呉服店	横浜市南区	後染反物（色無地、江戸小紋）、白生地（表地）
120	宮崎 (株)	茨城県結城市	先染反物（結城紬）
121	(有) 内海呉服店 きもの千歳屋	東京都世田谷区	白生地（表地（色無地、訪問着））
122	長島繊維 (株)	栃木県足利市	後染反物（色無地、小紋、付下、訪問着）、後染帯地
123	(株) しょう美	広島市西区	後染反物（色無地）
124	(資) 治田呉服店	群馬県富岡市	後染反物（色無地）
125	(株) 丸十	大阪府東大阪市	後染反物（小紋）、ニット（靴下）
126	(株) 竹田嘉兵衛商店	名古屋市緑区	胴裏（酵素精練）
127	(有) 樋口屋京染店	埼玉県鴻巣市	白生地（表地用（紋意匠））
128	大門屋	福井県大野市	白生地（牛首紬）、後染帯地（牛首紬）、ショール（牛首紬）、先染反物（飯田紬）、白生地着尺（信州紬）
129	(株) 加藤萬	東京都中央区	和装小物（帯揚げ、半衿）
130	(株) しゃらく	愛媛県新居浜市	後染反物（小紋）
131	(資) 山中商店	名古屋市中区	後染反物（小紋）
132	きもの処あだち	大阪府藤井寺市	後染反物（小紋）
133	西川産業 (株)	東京都中央区	寝具寝装品（掛布団）
134	繭工房華美	宮城県塩竈市	寝衣（長肌着、短肌着）
136	(株) 和想	鳥取県鳥取市	後染反物（小紋）
137	(株) 高島屋呉服店	島根県益田市	後染反物（小紋）

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
138	富岡シルクブランド協議会	群馬県富岡市	ネクタイ、褌、マフラー（手織り）
139	(株) 丸年呉服店	石川県金沢市	後染反物（小紋）
140	(株) 染織館	徳島県徳島市	後染反物（小紋）
141	(株) 京ろまん	奈良県奈良市	後染反物（小紋）、ニット（靴下）
142	五嶋 (株)	東京都文京区	帯締
143	(株) わふくや	浜松市中区	長襦袢地
144	(株) 布屋呉服店	静岡県富士宮市	胴裏（トルマリン加工）、後染反物（小紋（変一越、紋意匠））
145	(有) 明石屋	東京都調布市	後染反物（色無地）、後染帯地
146	宮井 (株)	京都市中京区	風呂敷
147	(株) ナカノ	大分県大分市	後染反物（小紋（変一越、紋意匠）、加賀友禅）
148	(株) 芦田呉服店	京都府綾部市	後染反物（色無地、小紋（変一越、紋意匠））
149	(株) 甲斐絹座	山梨県富士吉田市	ネクタイ、服飾品（スカーフ、ストール、トランクス）、パジャマ、袱紗
151	(株) 西松屋	兵庫県姫路市	後染反物（小紋（変一越、紋意匠））
152	(株) 西尾呉服店	大阪市福島区	後染反物（小紋（変一越、紋意匠））
153	勝山織物 (株)	京都市北区	先染帯地（金銀糸が5%を超えるもの）
154	(有) 石川	群馬県みどり市	後染反物（型友禅、羽二重色無地）、先染反物（ジャガード織）
156	那覇伝統織物事業協同組合	沖縄県那覇市	先染反物、先染帯地、かりゆしウェア、ショール
157	(株) ふじや	福岡県朝倉市	後染反物（小紋（変一越、紋意匠））
158	きものおかだ	兵庫県香美町	後染反物（小紋）
159	(株) J S	山梨県富士吉田市	寝具寝装品（ふとん、ふとんカバー）、洋装品（スーツ地、コート地、スカート地、シャツ、ワンピース地）、服飾品（スカーフ、ストール、ネックカバー、アームカバー、レッグカバー）
160	(株) マルシバ	東京都中央区	裏地（胴裏）、和装小物（袱紗）、ネクタイ、帯地（白塩瀬）
161	(株) みつわ	大阪府大東市	後染反物（小紋）
162	福続織物 (株)	福岡市西区	先染帯地（本袋男帯、八寸名古屋帯）
163	(株) 大谷屋	新潟市中央区	白生地（表地）
164	(株) 東京藤屋 (きものレディ着付け学院)	東京都品川区	白生地（表地）
166	近江真綿振興会	滋賀県米原市	寝具寝装品（布団、膝かけ）、ショール
167	(株) にしむら	兵庫県西脇市	後染反物（小紋（変一越、紋意匠））
168	(有) きものおおにし	大阪府東大阪市	後染反物（小紋（変一越、紋意匠））
169	(株) コノエ (そめの近江)	東京都豊島区	後染反物（小紋（変一越、紋意匠））、ニット（靴下）
170	(株) つたや	大阪府枚方市	後染反物（小紋（変一越、紋意匠））
171	(株) 京呉服小糸伸輔の店	熊本市東区	後染反物（小紋（変一越、紋意匠））
172	(株) マエノ	茨城県石岡市	後染反物（小紋（変一越、紋意匠））
173	(株) 本きもの松葉	大阪府富田林市	後染反物（小紋（変一越、紋意匠））
174	(有) 山田呉服店	長野県諏訪市	白生地（変り縮緬）、先染反物（大島紬）

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
175	(株) 呉服のながいけ	長崎県南島原市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
176	(株) 京呉服平田	福井県福井市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
177	(株) 布四季庵ヨネオリ	山形県米沢市	先染反物 (置賜紬)、ストール
178	奄美島絹推進協議会	鹿児島県龍郷町	先染反物 (大島紬)、先染帯地 (大島紬)
179	(株) 宮坂製糸所	長野県岡谷市	先染帯地 (八寸名古屋帯)
180	(有) シンセイ	長野県松本市	ニット (腹巻、靴下)
181	(株) 百花	横浜市中区	後染反物 (小紋 (変一越))
182	京呉服好一 (株)	京都市北区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
183	(株) パールトーン	京都市右京区	胴裏 (パールトーン加工)
184	きもの専科まさ井	兵庫県三木市	後染反物 (小紋 (変一越))
185	マテリアル ローブ 磨	東京都練馬区	後染反物 (小紋 (変一越))
186	(株) せんば呉服	兵庫県尼崎市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠)、訪問着)、先染反物 (緋着尺)、後染帯地
187	(株) 三越伊勢丹	東京都新宿区	白生地 (表地)、帯締、羽織紐、帯締 (金銀糸が5%を超えるもの)、ジャケット地
188	青山きもの (株) (青山きもの学院)	東京都港区	白生地 (表地、夏物表地)
189	ニット青木 (株)	東京都品川区	ニット (スーツ・パンツ、スーツ・スカート、ジャケット、アンサンブル、インナー)
190	渡豊工房	山形県山辺町	先染反物 (綾御召 (男物、女物)、市松綾御召 (草木染め)、もじり織 (草木染)、もじり織)、裏地 (紬八掛、駒八掛)、先染ストール (綾織草木染、もじり織草木染)
191	(株) リンクピース	福岡市博多区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
192	(有) 新宮 (きもの宮下)	宮崎県宮崎市	後染反物 (小紋 (変一越))
193	アトリエ I T O 伊藤峯子	沖縄県那覇市	先染反物、先染帯地
194	遊生染織工房 築城則子	北九州市八幡東区	先染反物
195	杉浦晶子	愛知県高浜市	先染反物、先染帯地
196	(株) 夢工芸染の新井	東京都足立区	白生地 (変り縮緬)、先染反物 (大島紬)
197	(株) 嗟が野	埼玉県川越市	白生地 (変り縮緬)、先染反物 (大島紬)
198	(株) カインドウェア	東京都千代田区	ストール、ネクタイ
199	(株) 新田	山形県米沢市	後染反物 (ぼかし着尺)
200	(株) ソーホー	京都市下京区	白生地 (紋意匠無地縮緬・紋意匠縮緬)、後染反物 (本加賀訪問着)、先染反物 (大島紬)、先染帯地 (袋帯)、先染反物 (御召)
201	(株) すずのき	東京都品川区	後染反物 (訪問着・色無地)、白生地 (表地)
202	メーカーズシャツ鎌倉 (株)	神奈川県鎌倉市	ニット (肌着)
203	(株) 丸本岩崎	北海道函館市	裏地 (胴裏絹)
204	(株) 緒方商店 (きもの心おがた)	愛媛県八幡浜市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
205	富士新幸 (株)	山梨県都留市	真綿布団
206	(有) 浅井ローケツ	京都市右京区	後染反物 (色無地・藍染)

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
207	(有) 呉服のうめね	北九州市小倉北区	白生地 (変一越)
208	(株) ADESSO (きもの工房一休)	神戸市中央区	白生地 (変一越)
209	森秀織物 (株)	群馬県桐生市	先染反物 (御召)
210	(株) 龍村美術織物	京都市中京区	先染帯地 (本袋帯 (金銀糸が5%を超えるもの))
211	(株) 長沼 (長沼静きもの学院)	東京都渋谷区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
212	(株) 国際商事	東京都板橋区	ショール
213	窪田織物 (株)	鹿児島県鹿児島市	先染反物 (大島紬、本場大島紬 12 マルキ)
214	村江菊絵 (菊江) (村江菊絵)	東京都目黒区	先染帯地、先染反物
215	片倉工業 (株)	東京都中央区	ニット (靴下)
216	村田捺染加工 (有)	群馬県桐生市	ストール
217	(株) 京のきもの綾錦	京都市下京区	後染反物 (訪問着、小紋、色無地)
218	あや工房	沖縄県西原町	先染反物 (首里織)、先染帯地 (首里織)
220	万兵 (株)	名古屋市中区	白生地 (表地)
221	横山 (株)	京都市中京区	後染反物 (小紋・訪問着)
222	(株) カネヒサクリエーション	石川県金沢市	白生地 (表地)
223	柳晋哉	東京都世田谷区	先染反物、先染帯地
224	(株) 一声	京都市下京区	白生地 (表地)
225	(株) ヤマノホールディングス きもの事業本部	東京都渋谷区	後染反物 (小紋・訪問着)、白生地 (帯地)
226	山口美術織物 (株)	京都市山科区	白生地 (表地・羽二重)
227	(株) 大醐	名古屋市中区	セリシン靴下、セリシン手袋
228	(株) 中忠商店	京都市上京区	セリシン靴下、セリシン手袋
229	(株) 帛撰	京都市北区	先染帯地 (名古屋帯、袋帯 (金銀糸が5%を超えるもの))
230	(株) 京朋	京都市中京区	白生地 (表地)
231	(有) 綵巧	京都市北区	先染反物 (御召)、先染帯地 (名古屋帯 (組帯))
232	ウライ (株)	京都市下京区	後染反物 (小紋)、後染帯地 (袋帯 (表地のみ))
233	大橋メリヤス	群馬県桐生市	ニットストール
234	宮田織物 (株)	京都市北区	先染帯地 (袋帯 (金銀糸が5%を超えるもの))
235	(有) 中彦	京都市上京区	先染反物 (御袷 (五条袷))
236	大月俊幸	長野県安曇野市	先染帯地 (名古屋帯)
237	久保原由佳理	長野県安曇野市	先染帯地 (名古屋帯)、先染着尺 (信州紬)

一般財団法人大日本蚕糸会活動日誌 No. 68 (R2.10.1 ~ R2.12.31)

月日	活 動 内 容 等
10/8 ~ 11	「東京シルクを愛する人の作品展」展示会 (東京都有楽町 蚕糸会館)
10/16	令和2年度全国シルクビジネス協議会幹事会 (WEB 会議)
10/23 ~ 24	シルクサミット 2020 in 丹後 (京都府)
10/27	養蚕資材に関する打合せ (群馬県)
10/29	役員・評議員懇談会及び臨時理事会 (茨城県 蚕業技術研究所)
11/ 5 ~ 6	養蚕資材に関する打合せ (新潟県)
11/ 5 ~ 7	「純日本の絹文化協会「松岡姫」グループ」展示会 (東京都有楽町 蚕糸会館)
11/19	全国シルクビジネス協議会 次年度農水補助事業打合せ (東京都有楽町 蚕糸会館)
11/27	養蚕業に関する主産県会議 (WEB 会議)

第9回蚕糸絹業提携確立技術・経営コンクールの出品を募集

第9回蚕糸絹業提携確立技術・経営コンクールを下記のとおり実施します。このコンクールは、令和3年度(第60回)農林水産祭参加行事です。

なお、今年度から農福連携グループも対象とする等、参加資格を緩和しましたので、積極的な参加をお願いします。

記

1 開催の目的

蚕糸絹産業や絹文化の維持継承とその活性化を図るため、純国産絹製品の生産販売活動に携わっている蚕糸絹業提携グループ、養蚕農家又は農家団体に加え、新たな取り組みを行うグループ等を表彰し、その活動と成果を広く紹介して蚕糸絹業の発展に資する。

2 応募方法・応募先

応募は、出品財として「提携グループ等」、「構成農家等」の何れかを選択し、蚕糸絹業提携確立技術・経営コンクール事務局宛に、各県蚕糸主務課又は各県蚕糸絹文化活性化推進協議会事務局等を通じて、ご応募をお願いします。

3 応募期間 令和3年2月1日～令和3年3月15日まで

4 審査・表彰日 審査会 令和3年4月中旬

表彰式 令和3年5月中旬

表彰場所 東京都千代田区 蚕糸会館

5 表彰内容 農林水産大臣賞1点、農林水産省生産局長賞1点

一般財団法人大日本蚕糸会会頭賞3点以内

6 審査員 一般財団法人大日本蚕糸会事業審査委員会の審査員

7 主催者 一般財団法人大日本蚕糸会

(問い合わせ先)

〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-9-4 蚕糸会館

一般財団法人大日本蚕糸会

蚕糸絹業提携確立技術・経営コンクール事務局

担 当 : 廣瀬隆登、小林栄一

T E L : 03-3214-3500

E-mail : kobaei@silk.or.jp(小林栄一)

蚕糸絹関係博物館一覧

名 称	〒	住 所	電 話
一般財団法人北海道開拓の村	004-0006	北海道札幌市厚別区厚別町小野幌 50-1	011-898-2692
ひころの里「シルク館」	986-0782	宮城県本吉郡南三陸町入谷字桜沢 442	0226-46-4310
原始布・古代織参考館	992-0039	山形県米沢市門東町 1 丁目 1 - 16	0238-22-8141
米沢織物歴史資料館	992-0039	山形県米沢市門東町 1 丁目 1 - 87	0238-23-3525
夕鶴の里資料館 語り部の館	992-0474	山形県南陽市漆山 2025 - 2	0238-47-5800
松ヶ岡開墾記念館	997-0152	山形県鶴岡市羽黒町松ヶ岡 29	0235-62-3985
公益財団法人致道（ちどう）博物館	997-0036	山形県鶴岡市家中新町 10 - 18	0235-22-1199
酒田市美術館	998-0055	山形県酒田市飯森山三丁目 17 - 95	0234-31-0095
かわまたおりもの展示館	960-1406	福島県伊達郡川俣町大字鶴沢字東 13 - 1	024-565-4889
結城市伝統工芸館	307-0001	茨城県結城市大字結城 3018 - 1	0296-32-7949
紬の里	307-0001	茨城県結城市結城 2515	0296-32-8002
本場結城紬郷土館	307-0000	茨城県結城市浦町 116	0296-32-2121
本場結城紬染織資料館「手緒里」	307-0001	茨城県結城市結城 12-2	0296-33-3111
佐野市郷土博物館	327-0003	栃木県佐野市大橋町 2047	0283-22-5111
おやま本場結城紬クラフト館	323-0023	栃木県小山市中央町 3-7-1 ロブレビル 1F	0285-32-6477
足利織物伝承館	326-0814	栃木県足利市通 3-2589	0284-22-3004
足利まちなか遊学館	326-0814	栃木県足利市通 1-2673-1	0284-41-8201
足利織姫神社	326-0817	栃木県足利市西宮町 3889	0284-22-0313
那須野が原博物館	329-2752	栃木県那須塩原市三島 5 - 1	0287-36-0949
高崎市歴史民俗資料館	370-0027	群馬県高崎市上滝町 1058	027-352-1261
群馬県立歴史博物館	370-1293	群馬県高崎市綿貫 992 - 1（群馬の森公園内）	027-346-5522
おかいてステーション	370-3401	群馬県高崎市倉渕町権田 5344 - 1235	027-340-6060
群馬県立日本絹の里	370-3511	群馬県高崎市金古町 888 番地の 1	027-360-6300
富岡製糸場	370-2316	群馬県富岡市富岡 1 - 1	0274-64-0005
前橋市蚕糸記念館	371-0036	群馬県前橋市敷島町 262 番地（敷島公園バラ園内）	027-231-9875
織物参考館“紫（ゆかり）”	376-0034	群馬県桐生市東 4 丁目 2 番 24 号	0277-45-3111
桐生織物記念館（桐生織物協同組合）	376-0044	群馬県桐生市永楽町 6 - 6	0277-43-2510
コノドント館みどり市大間々博物館	376-0101	群馬県みどり市大間々町大間々 1030	0277-73-4123
たくみの里	379-1418	群馬県利根郡みなかみ町須川 784	0278-64-2211
群馬県立世界遺産センター（セカイト）	370-2316	群馬県富岡市富岡 1450-1	0274-67-7821
片倉シルク記念館	360-0815	埼玉県熊谷市本石 2 丁目 135 番地	048-522-4316
ちちぶ銘仙館	368-0032	埼玉県秩父市熊木町 28-1	0494-21-2112
秩父ふるさと館	368-0044	埼玉県秩父市本町 3-1	0494-23-7300
きもの芸術館（一般財団法人国際文化きもの学会）	150-0002	東京都渋谷区渋谷 1-6-8 清水学園ビル 6F ～ 8F	03-3400-0286
文化学園服飾博物館	151-8529	東京都渋谷区代々木 3 - 22 - 7	03-3299-2387
調布市郷土博物館	182-0026	東京都調布市小島町 3 - 26 - 2	0424-81-7656
東京農工大学科学博物館	184-8588	東京都小金井市中町 2 - 24 - 16	042-388-7163
絹の道資料館	192-0375	東京都八王子市鎌水 989 - 2	0426-76-4064
八王子市郷土資料館	192-0902	東京都八王子市上野町 33	042-622-8939

名 称	〒	住 所	電 話
町田市立博物館	194-0032	東京都町田市本町田 3562	042-726-7531
羽村市郷土博物館	205-0012	東京都羽村市羽 741	042-558-2561
シルク博物館	231-0023	横浜市中区山下町 1 番地シルクセンター内	045-641-0841
神奈川県立歴史博物館	231-0006	横浜市中区南仲通 5-60	045-201-0926
相模田名民家資料館	229-1124	相模原市田名 4853 番 2 (大杉公園隣り)	042-761-7118
小千谷織物工房 小千谷織物同業協同組合	947-0028	新潟県小千谷市城内 1-8-25 小千谷市総合産業会館サンプラザ内	0258-83-2329
手織りの館	947-0028	新潟県小千谷市城内 1 - 8 - 25	0258-83-4800
十日町市博物館	948-0072	新潟県十日町市西本町 1	0257-57-5531
塩沢つむぎ記念館 (織の文化館)	949-6408	新潟県南魚沼市塩沢 1227 - 14	0257-82-4888
白山工房 (織りの資料館)	920-2501	石川県白山市白峰村ヌ 17	076-259-2859
はたや記念館ゆめおーれ勝山	911-0802	福井県勝山市昭和町 1 - 7 - 40	0779-87-1200
豊富郷土資料館	400-1513	山梨県中央市大鳥居 1619 - 1	055-269-3399
須坂市立博物館	382-0028	長野県須坂市臥竜 2 丁目 4 番 1 号臥竜公園内	026-245-0407
常田館 (絹の資料館)	386-0018	長野県上田市常田 1 - 10 - 3 笠原工業 (株) 内	0268-22-1230
繊維学部資料館	386-8567	長野県上田市常田 3-15-1 信州大学繊維学部内	0268-21-5454
上田市立博物館	386-0026	長野県上田市二の丸 3 番 3 号 (上田城跡公園内)	0268-22-1274
上田市丸子郷土博物館	386-0413	長野県上田市東内 2564 - 1	0268-42-2158
絹糸紡績資料館	386-0498	長野県上田市上丸子 1078 シナノケンシ (株) 内	0268-41-1800
長野県立歴史館	387-0007	長野県千曲市大字屋代字清水、科野の里歴史公園内	026-274-2000
海野宿歴史民俗資料館	389-0518	長野県東御市本海野 1098	0268-64-1000
日本司法博物館 (松本歴史の里)	390-0852	長野県松本市島立小柴 2196 - 1	0263-47-4515
岡谷蚕糸博物館 (シルクファクトおかや)	394-0021	長野県岡谷市郷田 1 丁目 4 番 8 号	0266-23-3489
駒ヶ根シルクミュージアム	399-4321	長野県駒ヶ根市東伊那 482 番地	0265-82-8381
安曇野市天蚕センター	399-8301	長野県安曇野市穂高有明 3618 - 24	0263-83-3835
美濃加茂市民ミュージアム	505-0004	岐阜県美濃加茂市蜂屋町上峰屋 3299 - 1	0574-28-1110
石川繊維資料館	400-0886	愛知県豊橋市東小田原町 109 - 1	0532-52-5265
豊田市稲武郷土資料館ちゅーま	441-2524	愛知県豊田市黒田町南水別 713	0565-82-3439
豊橋市民俗資料収蔵室	440-0021	愛知県豊橋市多米町滝の谷 34-1-1	0532-63-2026
三重中央農協郷土資料館	515-2504	三重県津市一志町高野 1204 - 1	059-293-0010
手おりの里、金剛苑	529-1204	滋賀県愛知郡愛荘町蚊野外 514	0749-37-4131
織物文化館	601-1123	京都市左京区静市市原町 265 川島織物セルコン内	075-741-4120
西陣織会館	602-8216	京都市上京区堀川通り今出川南入	075-451-9231
(公財) 手織技術振興財団・織成館	602-8482	京都市上京区浄福寺通上立売上る大黒町 693 番地	075-431-0020
千總ギャラリー	604-8166	京都市中京区御倉町 80 番地千總本社ビル 2 階	075-211-2531
絹の白生地資料館	604-8176	京都市中京区龍池町 448 - 2 伊と幸ビル	075-254-5884
まゆ村	616-8384	京都市右京区嵯峨天龍寺造路町	075-882-0564
グンゼ博物苑	623-0011	京都府綾部市青野町 グンゼ (株) 周辺敷地内	0773-43-1050
織元田勇	629-3104	京都府京丹後市網野町浅茂川 112 田勇機業 (株) 内	0772-72-0307

名 称	〒	住 所	電 話
上垣守国（うえがきもりくに）養蚕記念館	667-0321	兵庫県養父市大屋町蔵垣 246 - 2	079-669-1580
デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO)	651-0082	神戸市中央区小野浜町 1-4	078-325-2201
西予市野村シルク博物館	797-1212	愛媛県西予市野村町野村 8 号 177 番地 1	0894-72-3710
蚕糸資料館	781-1301	高知県高岡郡越知町越知甲 1577 番地	0889-26-1002
藤村製絲記念館	781-6402	高知県安芸郡奈半利町乙 2630	0887-38-4711
美馬蚕糸会館	771-2107	徳島県美馬市美馬町谷口 5-1	0883-63-2502

蚕糸絹関係機関ホームページ一覧

【行 政】

農林水産省
経済産業省

<http://www.maff.go.jp>
<http://www.meti.go.jp>

【蚕糸絹業関係団体】

(一財) 大日本蚕糸会
(一財) 大日本蚕糸会 ジャパンシルクセンター
(一社) 日本絹人繊維物工業会
(一財) 日本真綿協会
丹後織物工業組合
西陣織工業組合
T A F S (東京織物卸商業組合)
K O M S (京都織物卸商業組合)
(公財) 京都和装産業振興財団
(一財) 伝統的工芸品産業振興協会
蚕糸・絹業提携グループ全国連絡協議会

<http://www.silk.or.jp>
<http://www.silk-center.or.jp>
<http://www.kinujinsen.com>
<http://www.mawata.or.jp>
<http://www.tanko.or.jp>
<http://www.nishijin.or.jp>
<http://www.tafts.or.jp>
<http://www.fashion-kyoto.or.jp>
<http://www.wasou.or.jp/wasou/index.html>
<http://www.kougeihin.jp>
<http://takaraginu.com>

【大学・試験研究機関】

(国研) 農業・食品産業技術総合研究機構 <http://www.naro.affrc.go.jp>
(国) 北海道大学応用分子生物学分野応用分子昆虫学研究室 <http://www.agr.hokudai.ac.jp/rfoa/abs/abs2-1.html>
(国) 岩手大学農学部生命資源科学コース応用昆虫学研究室 <http://news7a1.atm.iwate-u.ac.jp/departments/agri/life.html>
(国) 宇都宮大学農学部分子昆虫学研究室 <http://shigen.mine.utsunomiya-u.ac.jp/insectbiotechnology/>
(国) 東京大学大学院農学生命科学研究科生産・環境生物学専攻昆虫遺伝研究室 <http://papilio.ab.a.u-tokyo.ac.jp/igb/index-J.html>
(国) 東京農工大学農学部生物生産学科蚕学研究室 <http://www.tuat.ac.jp/~kaiko>
(国) 東京農工大学工学部生命工学科 <http://www.tuat.ac.jp/~seimei>
(国) 名古屋大学農学部 <http://www.agr.nagoya-u.ac.jp>
(国) 信州大学繊維学部 <http://www.tex.shinshu-u.ac.jp>
(国) 京都工芸繊維大学工学部応用生物学課程 <http://www.bio.kit.ac.jp>
(国) 鳥取大学農学部生物資源環境学科昆虫機能学教育研究分野 <http://muses.muses.tottori-u.ac.jp>
(国) 山口大学農学部生物資源環境科学科 <http://www.agr.yamaguchi-u.ac.jp/bioenvi/research2.html>
(国) 九州大学大学院生物資源環境科学府蚕学研究室 <http://www.agr.kyushu-u.ac.jp/lab/sangaku>
(国) 九州大学大学院農学研究院遺伝子資源開発研究センター家蚕遺伝子開発分野 <http://www.agr.kyushu-u.ac.jp/lab/sanshi/insect/top.html>
群馬県蚕糸技術センター <http://www.pref.gunma.jp/07/p14710007.html>
群馬県繊維工業試験場 <http://www.pref.gunma.jp/07/p20210013.html>
京都府繊維・機械金属振興センター <http://www.pref.kyoto.jp/oriki>
(地独) 京都市産業技術研究所 <http://www.tc-kyoto.or.jp>
(公財) 衣笠繊維研究所 <http://krf-textile.com>
(一財) 大日本蚕糸会 蚕糸科学研究所 http://www.silk.or.jp/silk_kagaku/index.html
(一財) 大日本蚕糸会 蚕業技術研究所 http://www.silk.or.jp/silk_gijyutu/index.html

【学 会】

日本シルク学会
(一社) 日本蚕糸学会
日本野蚕学会

<http://jsst.sakura.ne.jp>
<http://jsss.or.jp>
<http://jswsmo.appspot.com>

【博物館】

(一財) シルクセンター国際貿易観光会館 シルク博物館
群馬県立日本絹の里
愛媛県西予市野村シルク博物館
東京農工大学科学博物館

<http://www.silkcenter-kbkk.jp/museum>
<http://www.nippon-kinunosato.or.jp>
<http://www.city.seiyo.ehime.jp/soshiki/silkmuseum>
<http://www.tuat.ac.jp/~museum>

【博物館】

駒ヶ根シルクミュージアム
織成館（京都市上京区）
高崎市染料植物園
群馬県立歴史博物館
岡谷蚕糸博物館（シルクファクトおかや）
はたや記念館ゆめおーれ勝山
美馬蚕糸館

<http://komagane-silk.com/>
<http://orinasukan.skr.jp>
<http://www.city.takasaki.gunma.jp/docs/201401140097>
<http://grekisi.pref.gunma.jp>
<http://silkfact.jp>
<http://www.city.katsuyama.fukui.jp/hataya>
<https://mimasanshikan.wixsite.com/mimasanshikan>

【富岡製糸場と絹産業遺産群】

富岡製糸場
群馬県 企画部 世界遺産課
ぐんま絹遺産
上毛新聞社関連記事

<http://www.tomioka-silk.jp/hp/index.html>
<http://worldheritage.pref.gunma.jp/ja>
<http://worldheritage.pref.gunma.jp/kinuisan>
http://jomo-news.co.jp/ns/series/silk_index.html

統計資料の年間掲載計画

＜国内＞	1月号	4月号	7月号	10月号
(1) 蚕糸絹業の概要	○	○	○	○
(2) 養蚕農家数	○	○	○	○
(3) 繭生産数量の推移	○	○	○	○
(4) 蚕期別、都府県別養蚕農家戸数		○		
(5) 蚕期別、都府県別繭生産数量		○		
(6) 蚕品種別蚕種製造数量の推移		○		
(7) 生糸需給及び絹糸・絹織物の輸出入状況	○	○	○	○
(8) 生糸の織度別生産数量の推移		○		○
(9) 絹需給の推移(生産量換算試算)	○	○	○	○
(10) 品目別・二次製品輸入数量(生糸量換算試算)		○		
(11) 製糸工場の原料繭需給	○	○	○	○
(12) 製糸工場の操業状況	○	○	○	○
(13) 生糸在庫数量の内訳	○	○	○	○
(14) 蚕糸関係品目別輸入状況		○		
(15) 生糸の原産国別輸入数量		○		○
(16) 絹糸の原産国別輸入数量		○		○
(17) 生糸・絹糸の主要輸入国からの輸入数量と単価		○		○
(18) 絹織物生産数量	○	○	○	○
(19) 丹後・長浜・西陣の絹織物生産数量	○	○	○	○
＜海外＞				
(1) 世界主要国の家蚕繭生産数量	○	○	○	○
(2) 世界主要国の家蚕生糸生産数量		○		
(3) 中国省別家蚕繭生産数量・生糸生産数量		○		
(4) 中国繭絲綢交易市場における各種シルク現物価格	○	○	○	○

統計資料目次

<国内>

(1) 蚕糸絹業の概要	42
(2) 養蚕農家数の推移	43
(3) 繭生産数量の推移	44
(4) 蚕期別、都府県別養蚕農家戸数	
(5) 蚕期別、都府県別繭生産数量	
(6) 蚕品種別蚕種製造数量の推移	
(7) 生糸需給及び絹糸・絹織物の輸出入状況	45
(8) 生糸の織度別生産数量の推移	
(9) 絹需給の推移（生糸量換算試算）	46
(10) 品目別・二次製品輸入数量（生糸量換算試算）	
(11) 製糸工場の原料繭需給	47
(12) 製糸工場の操業状況	48
(13) 生糸在庫数量の内訳	49
(14) 蚕糸関係品目別輸入状況	
(15) 生糸の原産国別輸入数量	
(16) 絹糸の原産国別輸入数量	
(17) 生糸・絹糸の主要輸入国からの輸入数量と単価	
(18) 絹織物生産数量	50
(19) 丹後・長浜・西陣の絹織物生産数量	51

<海外>

(1) 世界主要国の家蚕繭生産数量	53
(2) 世界主要国の家蚕生糸生産数量	
(3) 中国省別家蚕繭生産数量・生糸生産数量	
(4) 中国繭絲綢交易市場における各種シルク現物価格	54

一資料・国内一

(1) 蚕糸絹業の概要

Outline of Sericultural, Silk-Reeling, and Silk Fabric Industry in Japan

項目 item 年次（暦年） Calendar year	養蚕業 Sericultural Industry			製糸業 Silk-Reeling Industry			絹業 Silk Fabric Industry	
	養蚕農家 戸数 Number of Silk- Raising Farmer	収繭量 Cocoon Production	1戸当 収繭量 Cocoon Production per Farmer	生糸 生産量 Raw Silk Production	運転 工場数 Number of Mills	稼働率 Operation ratio	絹人織機 設備台数 (保有台数) Number of Silk Loom	絹織物 生産量 Silk Fabric Production
	戸 Number	トン t	kg	千俵 1,000 Bale of 60kg	工場 Number	%	千台 1,000	千㎡ 1,000 sq. meters
2000 (H12)	3280.0	1244.0	379.0	9.3	8	67	62.9	32,275
2001 (13)	2730.0	1031.0	378.0	7.2	8	63	56.8	29,801
2002 (14)	2360.0	880.0	372.9	6.5	17	68	51.2	26,826
2003 (15)	2070.0	780.0	377.0	4.8	14	64	48.7	23,935
2004 (16)	1850.0	683.0	369.0	4.4	13	62	45.6	21,895
2005 (17)	1591.0	626.0	393.0	2.5	10	62	43.7	19,816
2006 (18)	1345.0	505.0	375.0	2.0	9	82	41.6	18,507
2007 (19)	1169.0	433.0	370.0	1.8	8	83	40.0	15,466
2008 (20)	1021.0	382.0	374.0	1.6	6	80	38.1	14,043
2009 (21)	915.0	327.0	357.0	1.2	6	60	33.6	9,955
2010 (22)	756.0	265.0	351.0	0.9	7	49	35.9	3,611
2011 (23)	627.0	220.0	351.0	0.7	7	52	34.7	3,152
2012 (24)	571.0	202.0	354.0	0.5	7	35	33.3	2,912
2013 (25)	486.0	168.0	345.7	0.4	9	31	32.0	2,940
2014 (26)	393.0	149.0	379.1	0.4	9	34	—	2,734
2015 (27)	368.0	135.0	366.8	0.4	8	30	—	2,316
2016 (28)	349.0	130.0	372.5	0.3	8	26	—	2,243
2017 (29)	336.0	125.0	372.0	0.3	8	28	—	2,195
2018 (30)	293.0	110.0	375.4	0.3	8	46	—	2,113
2019 (R1)	264.0	92.0	348.5	0.3	8	37	—	1,931
前年比(%) 2019/2018	90.1	83.6	92.8	100.0	100.0	80.4	—	91.4

資料 ・ 2008年以前の養蚕業及び製糸業は、農林水産省調査によるものである。

・ 2009年以降の養蚕業は、全国農業協同組合連合会及び（一財）大日本蚕糸会調査、2011年以降は（一財）大日本蚕糸会調査である。

・ 2009年以降の製糸業は、中央蚕糸協会及び（社）日本生糸問屋協会調査、2018年11月以降は（一財）大日本蚕糸会調査である。

・ 2008年以前の絹業は経済産業省調査であり、2009年以降絹業は（一社）日本絹人織機物工業会調査である。

（注）2006年以降の絹織物生産量は、絹紡織物を含む。

（注）製糸業の運転工場数及び稼働率は器械製糸工場の操業状況であるが、2002年以降はすべての製糸工場のものである。

Source: ・ Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (MAFF) (Sericultural and Silk-Reeling, before 2008)

・ National Federation of Agricultural Co-operative Associations and the Dainippon Silk Foundation (Sericultural Industry, after 2009). The Dainippon Silk Foundation (after 2011)

・ Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association (Silk-Reeling, after 2009) The Dainippon Silk Foundation (after Nov. 2018)

・ The Ministry of Economy Trade and Industry (Silk Fabric, before 2008). Japan Silk & Rayon Weaver's Association (after 2009)

Note: Silk Fabric Production from 2006 includes spun silk fabrics.

Note: The number of operating mills and operation ratio are of machine reeling mills. (After 2002, all reeling mills)

(2) 養蚕農家数の推移

Farm households raising silk-worm

(単位：戸)

(Unit：number)

年次 Year	項目 Item	年間 Annual total	春蚕 Spring silk-worm	初秋蚕 Early autumn silk-worm	晩秋蚕 Late autumn silk-worm
2000		3,280	2,970	2,170	2,700
2001		2,730	2,410	1,870	2,270
2002		2,360	1,992	1,720	1,918
2003		2,070	1,875	1,503	1,751
2004		1,850	1,621	1,371	1,551
2005		1,591	1,420	1,061	1,345
2006		1,345	1,215	852	1,102
2007		1,169	1,052	726	988
2008		1,021	929	613	857
2009		915	814	647	755
2010		756	650	494	637
2011		627	562	358	531
2012		571	514	319	462
2013		486	422	260	399
2014		393	359	230	328
2015		368	323	221	313
2016		349	310	209	310
2017		336	307	201	280
2018		293	254	179	262
2019		264	233	153	224
前年比(%)					
2019/2018		90.1	91.7	85.5	85.5

資料：農林水産省統計情報部（～2001年） 全国農業協同組合連合会（2002年～2004年）

農林水産省生産局（2005年～2008年）（一財）大日本蚕糸会（2009年～）

Source：The Statistics and Information Department, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (～2001).

National Federation of Agricultural Co-operative Associations (2002～2004).

The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (2005～2008).

The Dainippon Silk Foundation (2009～).

(3) 繭生産数量の推移 Cocoon Production

項目 Item 年次 Year	年 計 Annual total				1戸当り収繭量 Cocoon production per farm household raising silk-worm			
	年 間 Annual total	春 蚕 Spring silk-worm	初秋蚕 early autumn silk-worm	晩秋蚕 Late autumn silk-worm	年 間 Annual total	春 蚕 Spring silk-worm	初秋蚕 early autumn silk-worm	晩秋蚕 Late autumn silk-worm
	t	t	t	t	kg	kg	kg	kg
2000	1,244	500	320	424	379	169	148	157
2001	1,031	391	275	365	378	162	147	161
2002	880	330	231	320	373	166	134	167
2003	775	313	210	253	374	167	140	144
2004	675	256	176	243	369	158	128	157
2005	626	243	165	218	396	171	156	162
2006	505	209	122	173	375	172	143	157
2007	433	175	110	148	371	166	152	150
2008	382	147	96	139	374	158	157	162
2009	327	124	85	118	357	152	131	156
2010	265	107	60	98	351	165	121	154
2011	220	95	49	76	351	169	136	143
2012	202	79	50	73	354	155	156	159
2013	168	61	41	67	346	145	158	168
2014	149	55	36	58	379	153	157	176
2015	135	49	32	54	368	151	147	174
2016	130	47	32	50	372	153	155	162
2017	125	47	29	49	372	153	144	175
2018	110	41	24	46	375	161	134	176
2019	92	35	22	35	355	153	144	158
前年比(%) 2019/2018	83.6	85.4	91.7	76.1	94.6	94.7	107.2	90.2
2019年 構成比(%)	100.0	38.0	23.9	38.0				

資料：農林水産省統計情報部（～2001年） 全国農業協同組合連合会（2002年～2004年）

農林水産省生産局（2005年～2008年） （一財）大日本蚕糸会（2009年～）

Source：The Statistics and Information Department, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (～2001).

National Federation of Agricultural Co-operative Associations (2002～2004).

The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (2005～2008).

The Dainippon Silk Foundation (2009～).

(7) 生糸需給及び絹糸・絹織物の輸出入状況

Raw Silk Supply / Demand Balance and Import/Export of Silk Yarn and Silk Fabric

項 目 Item 年 月 Year & Month	生 糸 Raw Silk					絹 糸 Silk Yarn		絹 織 物 Silk Fabrics	
	生産数量 Production (A)	輸入数量 Imports (B)	輸出数量 Exports (C)	国内引渡 数量 Domestic Deliveries (D)	期末在庫 数量 Ending Stocks (E)	輸入数量 Imports (F)	輸出数量 Exports (G)	輸入数量 Imports (H)	輸出数量 Exports (I)
暦 年 Calendar Year	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	1000SM	1000SM
2010	882	12,207	595	13,220	3,329	16,306	324	8,930	6,302
2011	731	9,323	578	10,349	2,456	17,526	427	8,422	6,229
2012	506	10,032	419	10,274	2,180	16,179	320	7,218	5,545
2013	409	9,332	292	9,919	1,712	15,844	426	6,662	5,431
2014	446	8,235	14	8,726	1,653	14,820	330	6,098	5,125
2015	378	6,479	0	7,194	1,410	14,051	302	5,468	5,085
2016	317	6,548	0	6,869	1,406	12,094	177	5,207	4,940
2017	339	7,560	1	7,557	1,747	14,560	245	4,897	4,785
2018	339	5,038	1	5,793	1,330	11,092	213	4,151	4,854
2019	269	4,852	4	5,018	1,429	10,920	165	3,893	4,750
2018 - 1	25	778	0	728	1,822	1,200	19	453	312
2	24	401	0	510	1,737	798	11	342	325
3	28	496	0	600	1,661	1,080	22	241	510
4	24	0	0	145	1,540	929	15	356	436
5	34	926	0	791	1,709	1,127	9	368	394
6	29	348	0	439	1,647	941	11	357	455
7	24	348	0	387	1,632	788	13	339	426
8	23	423	0	518	1,560	706	16	355	352
9	32	184	1	300	1,475	817	46	296	375
10	33	431	0	499	1,440	936	24	408	443
11	29	346	0	496	1,319	953	15	343	413
12	34	358	0	381	1,330	819	12	291	412
2019 - 1	25	382	0	382	1,355	855	18	486	362
2	27	358	3	399	1,338	644	16	172	365
3	26	870	0	710	1,524	920	5	266	484
4	18	1	1	264	1,278	937	23	305	444
5	19	595	0	464	1,428	1,033	19	310	369
6	22	301	0	307	1,444	834	8	359	389
7	23	392	0	418	1,441	922	14	395	417
8	11	427	0	430	1,449	1,104	12	280	378
9	28	390	0	496	1,371	932	8	325	380
10	21	386	1	301	1,476	911	12	278	406
11	24	446	0	530	1,416	974	12	330	404
12	25	304	0	316	1,429	855	19	387	351
2020 - 1	20	549	0	588	1,410	1,178	15	341	275
2	23	124	0	166	1,391	303	41	139	378
3	19	682	0	750	1,342	962	37	262	398
4	23	—	0	134	1,231	662	15	233	307
5	16	280	0	242	1,285	854	10	244	223
6	14	209	0	146	1,362	422	3	169	227
7	15	24	0	97	1,304	283	11	256	268
8	11	55	0	100	1,270	249	4	121	239
9	9	73	0	151	1,201	308	4	214	333
10		101	0			215	7	181	346

資料：(A) (C) (D) (E) 農林水産省生産局（～2010.3） 中央蚕糸協会及び日本生糸問屋協会（2010.4～2012.11）

中央蚕糸協会（2012.12～2018.10）（一財）大日本蚕糸会（2018.11～）(B) (F) (G) (H) (I) 財務省関税局

備考：1. 国内引渡数量(D) = {前月在庫数量+(A)+(B)} - {(C)+(E)}。

2. kgを60kg俵に換算しているため、各月の計と合計とが一致しない場合がある。

3. (D)と(E)は2012年11月までと同年12月以降調査方法が変更したため連続性はない。

Source：(A) (C) (D) (E) The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries

（～2010.3）、Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association (2010.4～2012.11)、

Central Raw Silk Association (2012.12～2018.10). The Dainippon Silk Foundation (2018.11～)

(B) (F) (G) (H) (I) The Customs Bureau, Ministry of Finance.

Remarks：1. Domestic deliveries (D) = {Stock at end of the previous month + (A) + (B)} - {(C) + (E)}.

2. Monthly volume may not add up the total volume due to round off.

(9) 絹需給の推移（生糸量換算試算）

Silk Supply and Demand Balance (Raw Silk Value Estimation)

(単位：千俵)

(Unit: 1,000Bales of 60kg)

項目 Item 曆年 Calendar Year	供給計 Supply Total ①								需要計 Demand Total ②=①-④							期末 在庫 Ending Stocks ④			
	期初 在庫 Opening Stocks	生 産 Produc- tion	輸 入 Import						計 ③ Total	生 糸 Raw Silk	絹 糸 Silk Yarn	織 物 Fabrics	二 次 The Second	輸 出 Export				内 需 Domestic Demand ②-③	
			計 Total	生 糸 Raw Silk	絹 糸 Silk Yarn	織 物 Fabrics	二 次 The Second	計 ③ Total						生 糸 Raw Silk	絹 糸 Silk Yarn		織 物 Fabrics		二 次 The Second
2000	376	119	9	248	39	32	28	149	263	16	0	0	14	2	247	113			
2001	350	113	7	230	30	23	25	152	237	17	0	0	15	2	220	113			
2002	366	113	7	246	32	28	24	162	261	18	0	0	16	2	243	105			
2003	361	105	5	251	31	33	25	162	261	20	2	0	17	1	241	100			
2004	353	100	4	249	26	30	25	168	268	30	11	0	18	1	238	85			
2005	354	85	3	266	22	33	30	181	270	27	4	1	21	1	243	84			
2006	334	84	2	248	20	32	24	172	257	22	0	1	20	1	235	77			
2007	293	77	2	214	13	19	21	161	222	21	0	1	18	2	201	71			
2008	276	71	2	203	15	23	20	145	213	16	0	0	15	1	197	63			
2009	237	63	1	173	12	16	15	130	190	16	0	0	15	1	174	47			
2010	225	47	1	177	12	16	16	133	182	16	0	0	15	1	166	43			
2011	227	43	1	183	9	18	14	142	180	16	0	0	15	1	164	47			
2012	230	47	1	182	10	16	14	142	184	15	0	0	14	1	169	46			
2013	248	46	0	202	9	16	13	164	203	14	0	0	13	1	189	45			
2014	225	45	0	180	8	15	12	145	180	14	0	0	13	1	166	45			
2015	221	45	0	176	6	14	11	145	176	17	0	0	12	5	159	45			
2016	240	45	0	195	7	12	14	162	195	15	0	0	9	6	180	45			
2017	239	45	0	194	8	15	9	162	194	21	0	0	11	10	172	45			
2018	205	45	0	160	5	11	8	135	160	26	0	0	10	16	134	45			
2019	186	45	0	141	5	11	8	117	141	25	0	0	10	15	116	45			
前年比(%) 2019/ 2018	91	100	—	88	96	98	95	87	88	97	—	—	97	97	87	100			

資料：蚕糸業需給・価格動向隔月報・繊維統計月報・日本貿易月報

備考：2013年から期末在庫を45千俵とする。

Source: "Silk balance and price situation monthly", "Trade Statistics"

(11) 製糸工場の原料繭需給

Balance of Cocoons as Raw Materials by Reeling Mills

(単位：生繭. t)

(Unit: Ton by fresh weight)

年 月 Year & Month	項 目 Item	総 計 Grand Total		
		受入数量 Receipts	消費数量 Put in Process	期末在庫数量 Ending Stocks
暦 年 Calendar Year				
2010		240	299	263
2011		189	162	237
2012		185	209	183
2013		142	137	188
2014		128	158	158
2015		116	159	115
2016		115	110	120
2017		103	120	103
2018		92	117	78
2019		89	97	70
2018	- 1	0	9	94
	2	2	8	88
	3	0	11	77
	4	0	8	69
	5	0	12	57
	6	18	10	65
	7	20	8	77
	8	9	8	78
	9	0	11	66
	10	36	11	91
	11	8	10	89
	12	0	11	78
2019	- 1	2	9	71
	2	0	10	61
	3	0	9	52
	4	0	7	45
	5	0	7	38
	6	18	8	48
	7	13	8	53
	8	14	4	63
	9	0	9	54
	10	22	8	68
	11	16	9	75
	12	4	9	70
2020	- 1	0	7	63
	2	0	8	55
	3	0	7	47
	4	1	8	40
	5	0	5	35
	6	14	5	44
	7	12	5	51
	8	13	5	59
	9	3	3	59

資料：農林水産省生産局(～2010. 3) 中央蚕糸協会及び(社)日本生糸問屋協会(2010. 4～2012. 11)

中央蚕糸協会(2012. 12～2018. 10) (一財)大日本蚕糸会(2018. 11～)

備考：1. 本表は上繭及び玉屑繭の合計である。

2. 受入数量=本月末在庫数量+消費数量-前月末在庫数量。

Source：The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries(～2010. 3).

Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association(2010. 4～2012. 11).

Central Raw Silk Association (2012. 12～2018. 10). The Dainippon Silk Foundation (2018. 11～)

Remarks：1. This table includes reelable, doupion and waste cocoons.

2. Receipts=(Ending stocks of the current month)+(put in process)-(Ending stocks of the preceding month).

(12) 製糸工場の操業状況

Activities of Reeling Mills

項目 Item 年 月 Year & Month	運転工場数 Operating Reeling Mills	設 備 数(台) Reeling Machines		運 転 率 (%) Operating Ratio	操業日数 Days Operated	従業者数 Number of Workers
		運転可能 Operable	運 転 Operating			
暦 年 Calendar Year						
2010	7	118	58	49	247	73
2011	7	110	57	52	252	65
2012	7	110	39	35	243	56
2013	9	110	38	31	249	57
2014	9	110	38	34	261	58
2015	8	110	33	30	263	53
2016	8	110	29	26	267	55
2017	8	110	31	28	266	59
2018	8	74	34	46	253	57
2019	8	74	27	37	239	51
2018 - 1	7	74	37	50	16	58
2	6	74	28	38	19	48
3	6	74	23	31	24	48
4	5	74	25	34	22	39
5	6	74	43	58	21	49
6	8	74	34	46	24	61
7	8	74	31	42	22	59
8	7	74	40	54	17	53
9	7	74	37	50	22	56
10	7	74	34	46	24	61
11	7	74	35	47	22	61
12	7	74	35	47	20	57
2019 - 1	7	74	36	49	20	56
2	6	74	36	49	20	52
3	7	74	34	46	21	56
4	6	74	21	28	20	42
5	6	74	19	26	21	42
6	7	74	26	35	21	45
7	7	74	23	31	18	46
8	7	74	14	19	17	45
9	7	74	32	43	21	51
10	8	74	28	38	20	54
11	8	74	31	42	20	54
12	7	74	28	38	20	51
2020 - 1	7	74	32	43	19	50
2	7	74	26	35	20	49
3	7	74	27	36	22	49
4	7	74	29	39	20	50
5	7	74	27	36	15	50
6	8	74	19	26	14	53
7	8	74	17	23	22	52
8	5	74	17	23	14	38
9	5	74	15	20	19	37

資料：農林水産省生産局（～2010.3）中央蚕糸協会及び（社）日本生糸問屋協会（2010.4～2012.11）

中央蚕糸協会（2012.12～2018.10）（一財）大日本蚕糸会（2018.11～）

備考：1. 設備数中の運転可能及び運転台数は毎月の算術平均である。

2. 運転率は運転可能台数に対する運転台数の比率である。

3. 従業者数は期末現在の在籍従業員数である。

Source：The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries（～2010.3）.

Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association（2010.4～）.

Central Raw Silk Association（2012.12～2018.10）. The Dainippon Silk Foundation（2018.11～）

Remarks：1. The number of operable and operating reeling machines is arithmetic means of monthly figures.

2. Operating ratio means ratio of operating machines in operable machines.

3. Number of workers are those on payroll as of end of period.

(13) 生糸在庫数量の内訳

Breakdown of Raw Silk Stocks

(単位 : 60kg俵)

(Unit : Bales of 60kg)

年 月 Year & Month	項 目 Item	計 Total	製糸工場 Filatures Mills	生糸市場外 売買業者 Domestic Dealers	生糸輸出 入業者 Ex and Importers
暦 年 Calendar Year					
2010		3,329	319	2,354	656
2011		2,456	288	1,651	517
2012		2,180	124	2,056	
2013		1,712	110	1,602	
2014		1,653	78	1,575	
2015		1,410	94	1,316	
2016		1,406	130	1,276	
2017		1,747	156	1,591	
2018		1,330	230	1,100	
2019		1,429	238	1,191	
2018 -	1	1,822	156	1,666	
	2	1,737	158	1,579	
	3	1,661	166	1,495	
	4	1,540	161	1,379	
	5	1,709	174	1,535	
	6	1,647	184	1,463	
	7	1,632	182	1,450	
	8	1,560	188	1,372	
	9	1,475	199	1,276	
	10	1,440	216	1,224	
	11	1,319	219	1,100	
	12	1,330	230	1,100	
2019 -	1	1,355	230	1,125	
	2	1,338	246	1,092	
	3	1,524	239	1,285	
	4	1,278	236	1,042	
	5	1,428	239	1,189	
	6	1,444	245	1,199	
	7	1,441	242	1,199	
	8	1,449	238	1,211	
	9	1,371	239	1,132	
	10	1,476	233	1,243	
	11	1,416	238	1,178	
	12	1,429	238	1,191	
2020 -	1	1,410	196	1,214	
	2	1,391	178	1,213	
	3	1,342	178	1,164	
	4	1,231	186	1,045	
	5	1,285	194	1,091	
	6	1,362	181	1,181	
	7	1,304	181	1,123	
	8	1,270	180	1,090	
	9	1,201	170	1,031	

資料 : 農林水産省生産局(～2010.3) 中央蚕糸協会及び(社)日本生糸問屋協会(2010.4～2012.11)

中央蚕糸協会(2012.12～2018.10) (一財)大日本蚕糸会(2018.11～)

Source : The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries(～2010.3).

Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association(2010.4～2012.11).

Central Raw Silk Association (2012.12～2018.10). The Dainippon Silk Foundation (2018.11～)

(18) 絹織物生産数量
Production of Silk Fabrics

(単位 : 1,000m²)
(Unit : 1,000sq. meters)

品 種 Type of Fabrics	総 数 Grand Total	絹・絹紡織物 Silk and Spun Silk Fabrics							
		広 巾 織 物 Double Width				小 巾 織 物 Single Width			その他の 後練(後染) Other Piece Dyed Silk Fabrics
		計 Total	羽二重類 Habutae	クレープ類 Crepe	先 練 (先染) Dyed Yarn	計 Total	ちりめん類 Silk crepe	先 練 (先染) Dyed Yarn	
年 月 Year & Month									
暦 年 Calendar Year									
2010	3,611	1,379	871	66	442	1,538	630	908	694
2011	3,152	1,438	786	62	591	1,003	562	441	711
2012	2,912	1,357	738	54	565	879	429	449	677
2013	2,940	1,428	813	46	569	809	397	412	703
2014	2,734	1,441	803	40	599	665	298	367	628
2015	2,316	1,228	664	35	529	630	283	347	458
2016	2,243	1,191	620	38	533	603	266	337	449
2017	2,195	1,185	639	50	497	587	272	315	422
2018	2,113	1,151	619	45	487	578	272	306	384
2019	1,939	1,128	583	43	502	521	242	279	290
2018 - 1	168	98	52	4	42	41	20	22	28
2	175	100	52	3	44	46	22	24	29
3	176	89	55	3	31	51	25	26	36
4	190	104	54	4	46	51	25	26	35
5	188	101	51	4	46	48	23	25	39
6	194	102	50	4	48	54	24	30	38
7	170	88	49	4	35	47	22	25	35
8	157	84	48	4	33	43	20	23	29
9	156	83	52	4	27	46	22	24	27
10	182	101	55	4	42	51	23	27	31
11	181	101	51	4	46	50	24	26	29
12	177	100	49	4	47	51	23	29	27
2019 - 1	156	89	46	4	39	41	19	22	26
2	171	97	52	4	42	45	22	22	29
3	163	92	52	4	36	45	22	24	26
4	175	100	55	3	42	46	23	23	29
5	175	107	50	3	55	44	20	24	24
6	166	95	50	4	41	46	21	25	26
7	164	95	50	4	41	44	21	23	25
8	135	78	41	4	33	38	17	21	19
9	149	85	44	3	38	41	18	24	23
10	163	96	49	3	44	45	21	24	22
11	166	100	47	4	50	45	20	24	21
12	156	94	48	3	43	42	19	23	20
2020 - 1	132	75	42	2	31	37	16	21	19
2	136	75	43	2	29	40	19	21	21
3	145	81	48	2	31	43	19	24	22
4	136	78	44	2	31	40	20	20	18
5	102	64	37	1	26	24	12	13	13
6	99	64	33	2	29	25	11	14	11
7	103	69	33	0	35	25	11	14	9
8	89	59	32	0	27	21	9	12	9
9	102	64	35	0	28	27	14	14	12
10	106	66	36	1	29	27	12	15	13

資料 : (一社) 日本絹人織織物工業会(～2020. 6) 経済産業省生産動態統計 (2020. 8～)

備考 : 絹紡と交織を含む。単位以下四捨五入。

Source : Japan Silk & Rayon Weaver's Association(～2020.6).Ministry of Economy,Trade,and Industry,Current Production Statistics(2020.8～)

Remarks : Spun and mixed fabrics included .Fractions of 0.5 and over counted as a whole number and the rest disregarded.

(19) 丹後・長浜・西陣の絹織物生産数量

Production of Silk Fabrics in Tango , Nagahama and Nishijin

項 目 Item 年 月 Year & Month	絹織物生産数量 Silk Fabrics Production		丹 後 Tango (白生地) (White Fabrics)		長 浜 Nagahama (白生地) (White Fabrics)		西 陣 Nishijin (帯) (Sash)	
	数 量 Quantity (千㎡) (1,000㎡)	前年(月)比 Ratio to previous year	生産数量 Production (反) (Roll)	前年(月)比 Ratio to previous year	生産数量 Production (反) (Roll)	前年(月)比 Ratio to previous year	推定出荷数量 Estimated Shipments (本)	前年(月)比 Ratio to previous year
暦 年 Calendar Year								
2010	3,611	36.3	515,721	102.5	84,023	110.0	859,244	115.1
2011	3,152	87.3	475,989	92.3	70,803	84.3	692,943	80.6
2012	2,912	92.4	451,503	94.9	62,910	88.9	645,679	92.9
2013	2,940	101.0	433,451	96.0	55,792	88.7	630,586	97.7
2014	2,734	93.0	400,192	92.3	53,174	95.3	600,917	95.3
2015	2,316	84.7	351,309	87.8	41,893	78.8	526,417	87.6
2016	2,243	96.8	310,271	88.3	38,063	90.9	488,144	92.7
2017	2,195	97.9	294,451	94.9	36,227	95.2	477,594	97.8
2018	2,113	96.3	282,158	95.8	36,316	100.2	426,796	89.4
2019	1,939	91.8	253,429	89.8	27,584	76.0	380,224	89.1
2018 - 1	168	104.3	17,326	90.3	3,005	110.4	35,097	87.1
2	175	102.3	25,063	99.0	2,912	108.7	36,007	95.5
3	176	94.1	23,373	99.3	3,289	104.9	40,384	95.3
4	190	101.6	25,842	91.1	3,243	102.9	41,773	98.8
5	188	103.3	20,935	91.9	3,345	105.9	37,871	86.2
6	194	94.6	27,319	96.3	2,820	91.1	35,102	81.4
7	170	93.4	25,225	96.2	3,376	104.9	32,378	92.4
8	157	96.9	19,518	100.4	2,621	98.8	29,797	96.2
9	156	92.9	25,448	96.2	2,708	89.1	29,607	75.4
10	182	93.8	22,919	91.1	3,137	99.1	39,136	101.7
11	181	91.0	25,178	105.2	3,047	99.9	32,662	78.8
12	177	88.9	24,012	93.5	2,813	88.9	36,982	86.7
2019 - 1	156	92.9	15,850	91.5	2,510	83.5	31,925	91.0
2	171	97.7	24,978	99.7	2,783	95.6	32,095	89.1
3	163	92.6	21,859	93.5	2,728	82.9	34,578	85.6
4	175	92.1	23,299	90.2	2,616	80.7	33,794	80.9
5	175	93.1	14,796	70.7	2,526	75.5	33,197	87.7
6	166	85.6	25,926	94.9	2,523	89.5	34,972	99.6
7	164	96.5	21,364	84.7	2,364	70.0	28,371	87.6
8	135	86.0	16,997	87.1	1,808	69.0	28,344	95.1
9	149	95.5	24,336	95.6	2,194	81.0	34,001	114.8
10	163	89.6	19,204	83.8	2,007	64.0	28,356	72.5
11	166	91.7	22,989	91.3	1,849	60.7	30,119	92.2
12	156	88.1	21,831	90.9	1,676	59.6	30,678	83.0
2020 - 1	132	84.6	15,165	95.7	1,259	50.2	24,411	76.5
2	136	79.5	21,802	87.3	1,707	61.3	26,233	81.7
3	145	89.0	17,996	82.3	1,792	65.7	28,783	83.2
4	136	77.7	18,393	78.9	1,172	44.8	20,179	59.7
5	102	58.3	12,661	85.6	669	26.5	11,341	34.2
6	99	59.6	9,326	36.0	690	27.3	21,317	61.0
7	103	62.8	8,532	39.9	361	15.3	18,561	65.4
8	89	65.9	7,147	42.0	613	33.9	16,344	57.7
9	102	68.5	10,011	41.1	451	20.6	20,505	60.3
10	106	65.0	10,443	54.4	645	32.1	24,142	85.1
11			11,523	50.1	874	47.3		

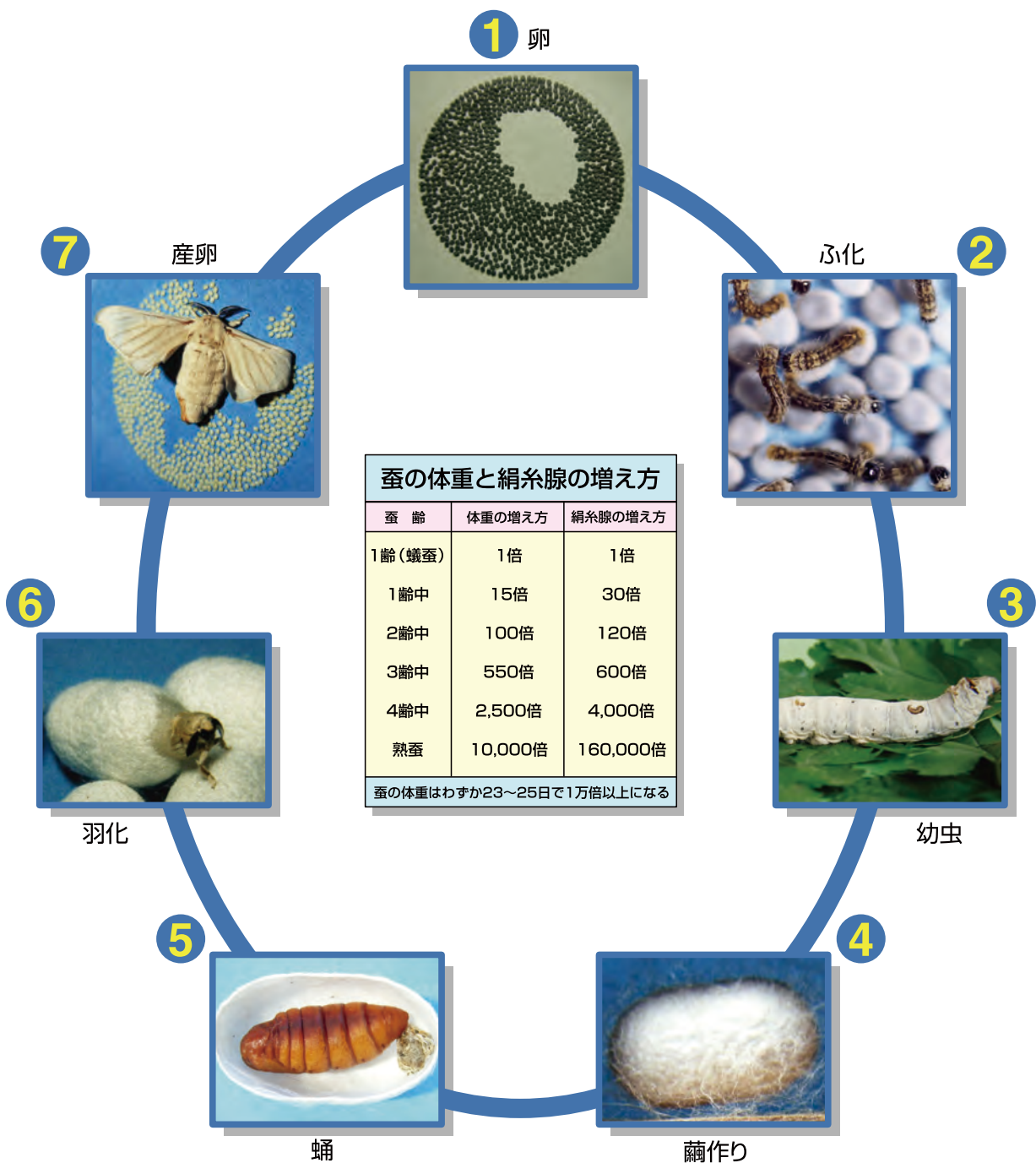
資料 : 絹織物生産数量は(一社)日本絹人織織物工業会(～2020.6) 経済産業省生産動態統計 (2020.8～)

主要3産地の生産量、出荷数量は各産地組合の発表による。

Source : Japan Silk & Rayon Weaver's Association(～2020.6). Ministry of Economy, Trade, and Industry, Current Production Statistics (2020.8～)

The numbers of Production and Shipments of 3major producing areas are reported by their local unions.

蚕の一生



協力:シルク博物館

一般財団法人 大日本蚕糸会

－資料・海外－

(1)世界主要国の家蚕繭生産数量

Domesticated Silkworm Cocoon Production in Major Countries

区 分		2010年	2011年	2012年
		トン	トン	トン
日本	Japan	265	220	202
中国	China	621,000	661,000	655,000
インド	India	131,924	139,871	144,434
ウズベキスタン	Uzbekistan	23,942	24,667	25,012
イラン	Iran	9,780	10,208	10,637
タイ	Thailand	4,650	4,580	4,580
ブラジル	Brazil	4,439	3,037	2,620
ベトナム	Vietnam	2,570	2,500	2,500
北朝鮮	North Korea	1,016	900	900
トルコ	Turkey	126	151	134
ブルガリア	Bulgaria	75	48	73
インドネシア	Indonesia	161	143	143
シリア	Syria	3.0	5	6.0
主要国の計	Total	799,951	847,330	846,241

区 分		2013年	2014年	2015年
		トン	トン	トン
日本	Japan	168	149	135
中国	China	643,000	641,000	628,000
インド	India	142,487	164,538	157,524
ウズベキスタン	Uzbekistan	26,455	25,000	27,237
イラン	Iran	11,065	11,493	12,538
タイ	Thailand	4,755	4,839	4,881
ブラジル	Brazil	2,608	2,563	2,544
ベトナム	Vietnam	2,500	2,495	2,515
北朝鮮	North Korea	900	857	937
トルコ	Turkey	121	80	75
ブルガリア	Bulgaria	73	65	65
インドネシア	Indonesia	114	71	57
シリア	Syria	5.0	5.0	3.0
主要国の計	Total	834,251	853,155	836,511

注1 日本は(一財)大日本蚕糸会、中国は中国絲綢(シルク)協会、インドはインド繊維省中央蚕糸局(CSB)、ブラジルはブラジル製糸協会 (ABRASSED)の統計値をそれぞれ使用、それ以外の国は国際養蚕委員会 (ISC)及びFAOの統計値を使用した。

注2 生糸生産量からの推計を含む。

Note:1Figures of Japan are based on the data of the Dainippon Silk Foundation.

Figures of China are based on the data of the China Silk Association.

Figures of India are based on the data of the Central Silk Board (CSB),Ministry ofTextiles in India.

Figures of Brazil are based on the data of the Brazil Filature Association(ABRASSED).

Others than these countries,based on the data of International Sericulture Commission (ISC).

2As the figures of Vietnam(since2004) is not reported ,that is taken as the same amount as previous year because that constitute high proportion of total.

(4) 中国繭絲綢交易市場における各種シルク現物価格

Spot Price of Various Silk Goods

2020年8月 平均 (month average)

区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/kg) (price range)	価格幅(円/kg) (price range)
1	乾繭(dried cocoon)	3A-4A	87.00 ~ 97.00	1,305 ~ 1,455
2	乾繭(dried cocoon)	5A-6A	104.00 ~ 124.00	1,560 ~ 1,860
3	玉繭(double cocoon)		87.00 ~ 101.00	1,305 ~ 1,515
4	キビソ(frison)	(自動機)automatic reel	75.50 ~ 90.50	1,133 ~ 1,358
5	生糸(raw silk)	21d、工場検査	278.63 ~ 289.38	4,179 ~ 4,341
6	生糸(raw silk)	21d、検驗局検査	286.75 ~ 296.75	4,301 ~ 4,451
7	生糸(raw silk)	42d、工場検査	293.88 ~ 318.00	4,408 ~ 4,770
8	玉糸(doupion silk)	110d	288.15 ~ 303.88	4,322 ~ 4,558
区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/メートル) (price range)	価格幅(円/メートル) (price range)
9	羽二重(habutae)	45吋(inch)8匁(mom)	29.00 ~ 35.00	435 ~ 525
10	サテン(satin)	45吋(inch)16匁(mom)	45.00 ~ 50.00	675 ~ 750
11	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)13.5匁(mom)	38.00 ~ 41.00	570 ~ 615
12	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)12匁(mom)	32.00 ~ 36.50	480 ~ 548

注:1元=15円

2020年9月 平均 (month average)

区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/kg) (price range)	価格幅(円/kg) (price range)
1	乾繭(dried cocoon)	3A-4A	86.60 ~ 96.60	1,386 ~ 1,546
2	乾繭(dried cocoon)	5A-6A	102.20 ~ 124.20	1,635 ~ 1,987
3	玉繭(double cocoon)		88.00 ~ 102.00	1,408 ~ 1,632
4	キビソ(frison)	(自動機)automatic reel	76.00 ~ 91.00	1,216 ~ 1,456
5	生糸(raw silk)	21d、工場検査	281.00 ~ 291.00	4,496 ~ 4,656
6	生糸(raw silk)	21d、検驗局検査	286.00 ~ 296.00	4,576 ~ 4,736
7	生糸(raw silk)	42d、工場検査	310.00 ~ 340.00	4,960 ~ 5,440
8	玉糸(doupion silk)	110d	289.40 ~ 299.40	4,630 ~ 4,790
区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/メートル) (price range)	価格幅(円/メートル) (price range)
9	羽二重(habutae)	45吋(inch)8匁(mom)	29.00 ~ 35.00	464 ~ 560
10	サテン(satin)	45吋(inch)16匁(mom)	45.00 ~ 50.00	720 ~ 800
11	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)13.5匁(mom)	38.00 ~ 41.00	608 ~ 656
12	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)12匁(mom)	32.00 ~ 36.50	512 ~ 584

注:1元=16円

資 料:中国繭絲綢交易市場(浙江省、嘉興)発表

Source:China Silk Exchange(Zhejiang Sheng Jia Xing)

2020年10月 平均 (month average)

区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/kg) (price range)	価格幅(円/kg) (price range)
1	乾繭(dried cocoon)	3A-4A	88.00 ~ 98.00	1,408 ~ 1,568
2	乾繭(dried cocoon)	5A-6A	104.00 ~ 126.00	1,664 ~ 2,016
3	玉繭(double cocoon)		89.50 ~ 103.50	1,432 ~ 1,656
4	キビソ(frison)	(自動機)automatic reel	77.50 ~ 92.50	1,240 ~ 1,480
5	生糸(raw silk)	21d、工場検査	289.50 ~ 301.25	4,632 ~ 4,820
6	生糸(raw silk)	21d、検驗局検査	296.25 ~ 306.25	4,740 ~ 4,900
7	生糸(raw silk)	42d、工場検査	302.50 ~ 332.50	4,840 ~ 5,320
8	玉糸(doupion silk)	110d	300.00 ~ 315.00	4,800 ~ 5,040
区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/メートル) (price range)	価格幅(円/メートル) (price range)
9	羽二重(habutae)	45吋(inch)8匁(mom)	30.00 ~ 36.75	480 ~ 588
10	サテン(satin)	45吋(inch)16匁(mom)	46.00 ~ 51.75	736 ~ 828
11	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)13.5匁(mom)	39.00 ~ 42.00	624 ~ 672
12	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)12匁(mom)	33.00 ~ 38.25	528 ~ 612

注:1元=16円

2020年11月 平均 (month average)

区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/kg) (price range)	価格幅(円/kg) (price range)
1	乾繭(dried cocoon)	3A-4A	93.00 ~ 103.00	1,488 ~ 1,648
2	乾繭(dried cocoon)	5A-6A	109.00 ~ 130.00	1,744 ~ 2,080
3	玉繭(double cocoon)		93.00 ~ 107.00	1,488 ~ 1,712
4	キビソ(frison)	(自動機)automatic reel	79.25 ~ 94.00	1,268 ~ 1,504
5	生糸(raw silk)	21d、工場検査	304.75 ~ 327.50	4,876 ~ 5,240
6	生糸(raw silk)	21d、検驗局検査	303.25 ~ 324.50	4,852 ~ 5,192
7	生糸(raw silk)	42d、工場検査	301.25 ~ 335.00	4,820 ~ 5,360
8	玉糸(doupion silk)	110d	300.00 ~ 310.00	4,800 ~ 4,960
区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/メートル) (price range)	価格幅(円/メートル) (price range)
9	羽二重(habutae)	45吋(inch)8匁(mom)	31.00 ~ 38.00	496 ~ 608
10	サテン(satin)	45吋(inch)16匁(mom)	47.00 ~ 53.00	752 ~ 848
11	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)13.5匁(mom)	39.75 ~ 42.75	636 ~ 684
12	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)12匁(mom)	33.75 ~ 39.25	540 ~ 628

注:1元=16円

※「シルクレポート」の記事と統計データは、下記のホームページでもご覧になれます。

<http://www.silk-teikei.jp>

シルクレポート 2021 年 1 月号 No.68 令和 3 年 1 月 1 日発行

編集 / 発行

一般財団法人大日本蚕糸会

〒100-0006 東京都千代田区有楽町 1-9-4 蚕糸会館 6 階

TEL : 03-3214-3500

FAX : 03-3214-3511

URL:<http://www.silk-teikei.jp>

製本 / 印刷

株式会社正大印刷社

無断転載禁ず